

PC@LL Ver13.0  
授業支援システム 操作マニュアル

**PC@LL** Computer Assisted Language Learning

# 目次 ①

- **コンソール画面構成** ..... 3
  - ・コンソール全体図と各エリアの紹介
- **コンソール機能リスト** ..... 4
  - ・各エリアの機能リスト
  - **学習者の映像・音声エリア** ..... 5
  - **授業支援機能エリア** ..... 5
  - **学習者座席表示エリア** ..... 4
  - **終了・設定エリア** ..... 4
  - **出席・講義授業名表示エリア** ..... 4
  - **学習者情報表示ボタン** ..... 4
  - **コールレスポンスボタン** ..... 4
  - **実行機能解除ボタン** ..... 4
- **PC@LL 授業支援システム 基本的な操作方法** ..... 6
  - ・操作の3ステップ・学習者に対し【個別】操作を実行・機能をクリアする
- **学習者表示パネル（学習者側操作）** ..... 10
  - ・学習者側の授業前の準備 ・学習者操作パネルの基本的な操作方法
- **【学習者の映像・音声エリア】 他の操作** ..... 14
  - ・【学習者の映像・音声エリア】他の操作方法
  - ・学習者全員のPC画面に教師PC画面を送る ..... 15
  - ・マーキング（教員PC画面にマーキングする） ..... 16
  - ・プロジェクトに教師PCの画像を投影する ..... 17
  - ・学習者PC画面の一覧表示 ..... 18

- **【送る・集める】** ..... 20
  - ・【学習者に送る・学習者から集める】を中心とした機能・操作について
  - ・教師PCの任意のファイルを配布・回収する
  - ・教師PCからメッセージを送信する
  - ・アンケートを起動する
  - ・小テストを起動する
- **【見せる・聞かせる】** ..... 38
  - ・【学習者に見せる・学習者に聞かせる】を中心とした機能・操作について
  - ・学習者にWebサイトを見せる
  - ・教師PC画面を見せる
- **【学習者PCを確認する】** ..... 41
  - ・【学習者PCの様子を確認する】を中心とした機能・操作について
  - ・学習者PC画面と音声を確認する
  - ・学習者のモニタを巡回する
  - ・全学習者のPC画面を一度に確認する
  - ・モデルを全員に送信する
  - ・学習者全員の起動中のアプリを確認する
  - ・学習者の評価を行う
- **【学習者PCを操作する】** ..... 48
  - ・【学習者PCを操作する】を中心とした機能・操作について
  - ・キーボード・マウスを共有する
  - ・キーボード・マウスに介入する
  - ・学習者全員に介入を行う
  - ・学習者PCのアプリを起動する

■ 【学習者PCを制限する】 ..... 53

【学習者PCを制限する】を中心とした機能・操作について

- ・学習者のモニタをブラックアウトする
- ・学習者のキーボード・マウスをロックする
- ・学習者全員のIEの起動を禁止する
- ・特定のアプリの起動を禁止する

■ 【学習者PCを管理する】 ..... 58

【学習者PCを管理する】を中心とした機能・操作について

- ・学習者PCの電源制御を行う
- ・学習者PCからファイルの提出を行う

■ 【グループ学習】 ..... 61

【学習者がグループ学習する】を中心とした機能・操作について

- ・グループリーダーの画面を見せる、共有する
- ・処理対象グループ設定

■ 【授業・講義の管理】 ..... 64

【授業・講義の管理】を中心とした機能・操作について

- ・講義を選択・開始
- ・出席を受け付ける
- ・学習者からの呼出しを許可する
- ・出席表を表示する

■ 【終了・設定】 ..... 69

【コンソールの終了・設定】を中心とした機能・操作について

- ・コンソールの日本語表示を英語表示に変更する
- ・【学生のモニタを巡回する】巡回の時間を変更する
- ・コンソールを終了する

■ センターモニタの運用方法 カスタマイズ項目 ..... 73

・センターモニタの設定方法、プリセット内容の確認

■ PC@LL Ver13.0 サーバー内フォルダ構成 ..... 78

・PC@LL共有サーバー内に格納されるフォルダ、データの構成

# PC@LL Ver13.0 コンソール

- コンソール画面構成
- コンソール機能リスト

# コンソール画面構成

The screenshot shows a control console for a classroom system. At the top, there are three columns of AV device controls: '学習者の映像・音声' (Student Video/Audio), '教室の映像・音声' (Classroom Video/Audio), and '教卓の映像・音声' (Instructor Table Video/Audio). Each column has buttons for 'リモコン' (Remote), '一括設定' (Batch Setting), and specific device controls like '学習者PC画面', 'センターモニタ', 'ヘッドホン', 'プロジェクタ', 'スピーカー', '確認画面', and 'ヘッドセット'. On the right side, there are communication controls: '全員に話しかける(AllCall)', '学習者と会話する(インカム)', and 'ペア、グループブレスンを行う'. Below these are buttons for '送る・集める', '見せる・聞かせる', '学習者PCを確認する', '操作する', '制限する', '管理する', 'グループ学習', and '授業・講義の管理'. The main area is a grid of student seats, each with a name and ID (e.g., IZM410D8, IZM410C8, IZM410B8). Several seats are highlighted with callouts: 'IZM410D2' is labeled as '未ログイン状態' (Not logged in), 'IZM410D3' as 'PC電源OFF状態' (PC power OFF), and 'izm-test02' and '471A059006' as '学習者PC出席状態' (Student PC attendance status). A '学習者情報表示ボタン' (Student information display button) is shown at the bottom of the grid. At the bottom of the console, there are buttons for '終了' (End), '設定' (Settings), '出席数(有効数): 3(3)', '学習者情報表示' (Student information display), 'コールレスポンス' (Call response), and '実行中の機能を全て解除する' (Cancel all functions in progress).

**【学習者の映像・音声 操作エリア】**  
AV機器を制御する機能です。授業支援は以下の機能のみ操作可能になります。  
【学習者PCに教員PC画面を送る】(リアルタイム・静止画像)  
【教員PCにマーキングする】

**【授業支援機能エリア】**  
学習者Pを制御する機能です。  
【画面のロック】【電源制御】  
【グループ設定】【出席参照】など

**【学習者座席ボタンエリア】**  
学習者PCの表示を確認、学習者の指定を行います

**【学習者PC出席状態】**  
izm-test02 471A059006

**【PC電源OFF状態】**  
IZM410D3

**【未ログイン状態】**  
IZM410D2

**【出席・講義授業名表示】**  
【出席人数】【講義名】表示

**【終了・設定】**  
【システム終了】【各種設定】を制御します。

**【学習者情報表示ボタン】**  
【学習者PC画面一覧表示】とレイアウト画面を切り替えます

**【コールレスポンス】**  
学習者PCからのコールに反応します

**【実行機能解除ボタン】**  
コンソールで実行中の機能を全て解除します。

- 学習者の映像・音声エリア
- 授業支援エリア
- 学習者座席ボタンエリア
- 終了・設定エリア
- 操作案内メッセージ表示エリア
- 学習者情報表示ボタン
- コールレスポンス
- 実行機能解除ボタン

### 【コンソール全体図】



## 3 学習者座席エリア



【モニタリング】や【モデル送信】【ブラックアウト】等の任意の学習者を指定する場合、座席ボタンをタッチします

## 4 終了・設定エリア

	終了	PC@LLコンソールシステムを終了します
	最小化	コンソール画面を最小化します
	設定	【一般設定】(巡回間隔時間の設定等)【運用切替】(英語モード等) の設定変更ができます

## 5 出席・講義授業名表示エリア

出席数(有効数): 0 (36)	【出席数表示】【講義授業名表示】エリアです
------------------	-----------------------

## 6 学習者情報表示ボタン

学習者情報表示	【学習者PC】の画面を一覧で表示します
---------	---------------------

## 7 コールレスポンスボタン

コールレスポンス	【コールボタン】を押した学習者とヘッドホンを通じて会話をします
----------	---------------------------------

## 8 実行機能解除ボタン

実行中の機能を全て解除する	実行している機能を全て解除します
---------------	------------------

## 1 学習者の映像・音声

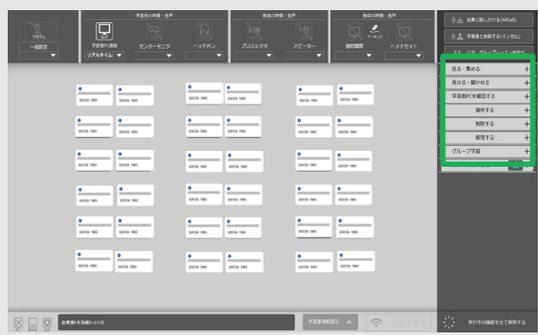
	学習者PCへ教員PCの画像を静止画あるいはリアルタイム画像をPCへ送信します
--	--

	プレビューモニターに表示されている画像にマーキングを開始します
--	---------------------------------

## 2 授業支援機能エリア

※詳細は次ページの【授業支援機能エリア】を参照して下さい。

【コンソール全体図】



【授業支援エリア】 【エリア拡大図】

- 1 送る・集める +
- 2 見せる・聞かせる +
- 3 学習者PCを確認する +
- 4 操作する +
- 5 制限する +
- 6 管理する +
- 7 グループ学習 +
- 8 授業・講義の管理   +

2 授業支援機能エリア

授業支援機能操作エリア

1	送る・集める +	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師PCの任意のファイルを配布、回収する</li> <li>教師PCからメッセージを送信する</li> <li>アンケートを起動する</li> <li>小テストを起動する</li> </ul>
2	見せる・聞かせる +	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者にWebサイトを見せる</li> <li>教師PC画面を見せる</li> </ul>
3	学習者PCを確認する +	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者PC画面と音声を確認する</li> <li>モデルを全員に送信する</li> <li>学習者のモニタを巡回する</li> <li>学習者全員の起動中のアプリを確認する</li> <li>学習者の評価を行う</li> </ul>
4	操作する +	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーボード、マウスを共有する</li> <li>キーボード、マウスに介入する</li> <li>学習者全員に介入を行う</li> <li>学習者PCのアプリを起動する</li> </ul>

授業支援機能操作エリア

5	制限する +	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者のモニタをブラックアウトする</li> <li>学習者のキーボード、マウスをロックする</li> <li>学習者全員のIEの起動を禁止する</li> <li>特定のアプリの起動を禁止する</li> </ul>
6	管理する +	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者PCの電源制御を行う</li> <li>学習者PCからファイル提出を許可する</li> </ul>
7	グループ学習 +	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループリーダーの画面を見せる、共有する</li> <li>処理対象グループ設定</li> </ul>
8	授業・講義の管理   +	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席を受け付ける</li> <li>学習者からの呼出を許可する</li> <li>出席表を表示する</li> <li>出席情報をクリアする</li> </ul>

# PC@LL Ver13.0 コンソール

## ■ 基本的な操作方法

- ① 操作の3ステップ
- ② 【個別】に機能を実行する
- ③ 機能をクリアする

# PC@LL授業支援システムの基本的な使い方 基本的な操作方法について①

## ■ PC@LL授業支援システム コンソールシステムは3ステップで簡単操作できます

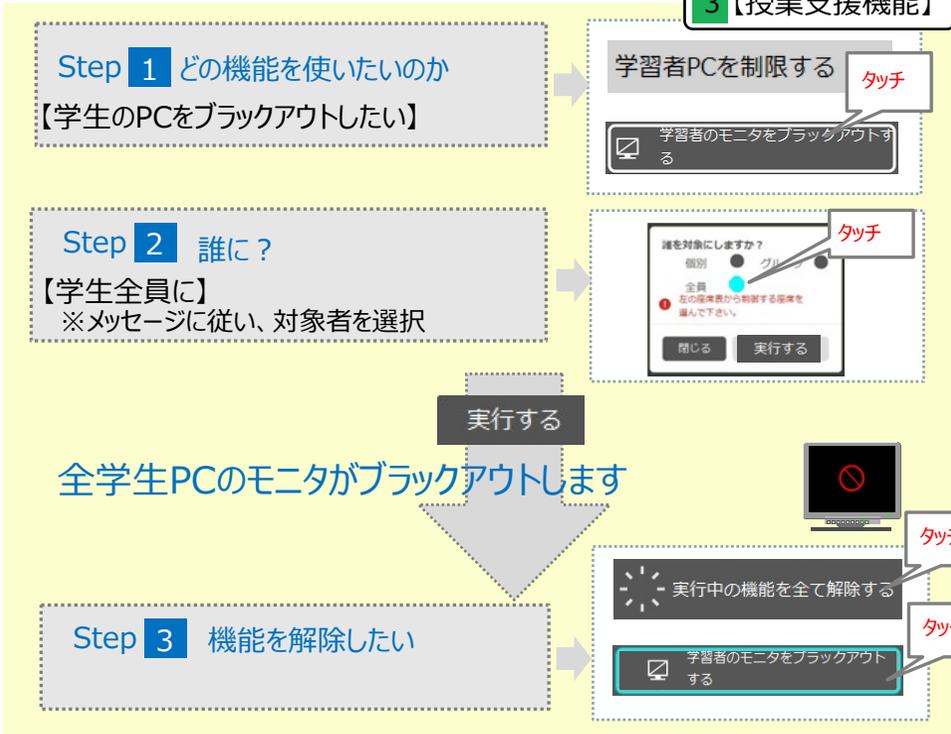
**Step 1**  
『何をしたいか（機能）』

**Step 2**  
メッセージに従って操作  
(ナビウインドウから対象等を選択)

**Step 3**  
実行機能解除ボタンでクリアする  
もしくは、  
実行中の機能ボタンを押して解除する

■ 例えば.....

学生全員のPCをブラックアウトしたい



■ PC@LLコンソールVer13.0 授業支援システムは【個別】に教材等を送ることができます。

■ 例えば.....

教員PCの画面を任意の生徒に個別に送りたい



※【個別】に送る機能は 3 【授業支援機能】から操作し【個別】をチェックしないと個別への操作はできません。

**3【授業支援機能】**

**Step 1** どの機能を使いたいのか  
【教員PCの画面を学生Aだけに送りたい】

**Step 2** 誰に?  
【学生Aに】

※メッセージに従い、【個別】を選択  
座席レイアウトから任意の学習者の座席ボタンをタッチして選択します

**Step 3** 機能を解除したい  
※機能ボタンを再度タッチで機能解除

実行する

教員PCの画面が学生Aのみに送信されます

**PC@LLコンソール**

**3【授業支援機能】**

Step1. 何を?  
「教員PC画面を任意の学習者に送りたい」  
↓  
【見せる・聞かせる】  
↓  
【教師PC画面を見せる】

Step2 誰に?  
【個別】をチェックし、任意の学習者の座席ボタンをタッチ

Step3. 機能をもう一度タッチし機能を解除

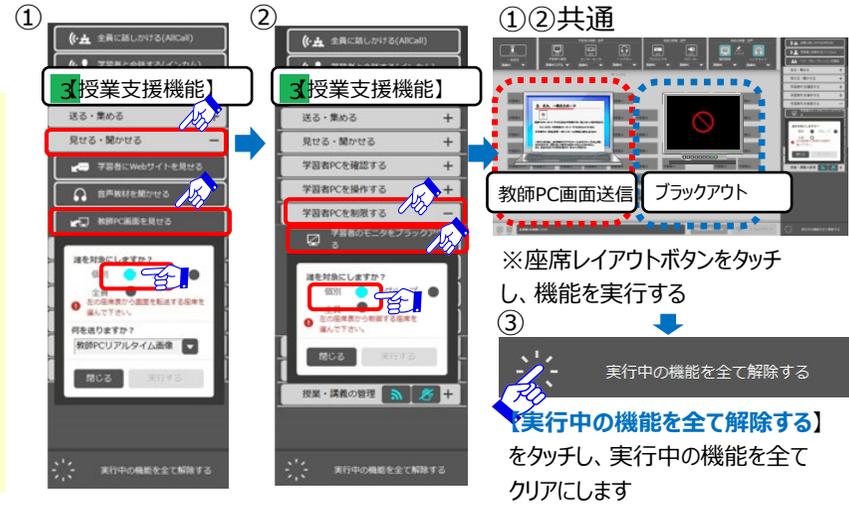
※【実行中の機能を全て解除する】ボタンで機能をクリアすることもできますが、全ての機能をクリアしてしまうので注意してください。

■PC@LL授業支援システム コンソールの実行中機能をクリアする方法は2通りあります。

①全ての機能をクリアする…【実行中の機能を全て解除する】をタッチし、機能をオールクリアする

■例えば… 『学習者半分に教員PC画面を送信し、残り半分の学習者PC画面をブラックアウトする』

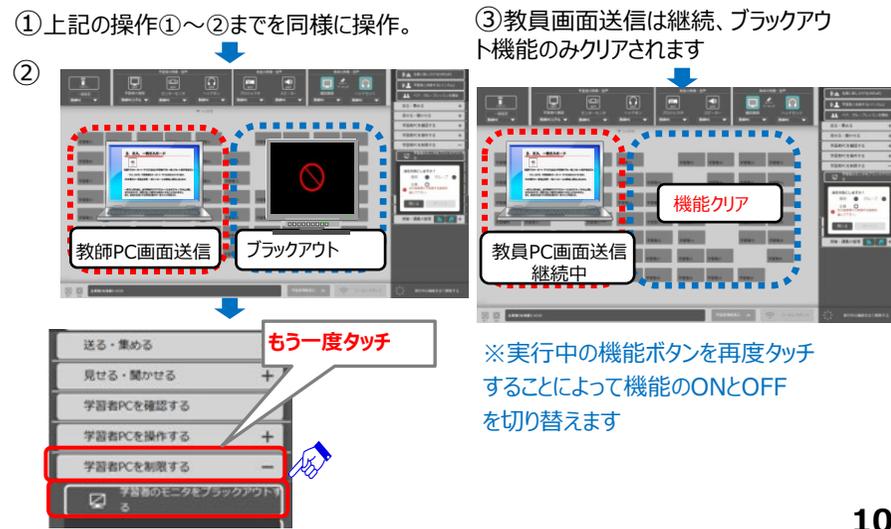
- ①ステップに従い、コンソール操作を開始する。  
**3 授業支援機能**より **見せる・聞かせる** **教師PC画面を見せる** (メッセージ画面の) **個別** を選択→ **座席レイアウトボタン** をタッチし 半分の学習者に教員PC画面を送る。
- ② もう一度 **3 授業支援機能**より **学習者PCを制限する** **学習者のモニターをブラックアウトする** → (メッセージ画面の) **個別** を選択→ **座席レイアウトボタン** をタッチし残り半分の学習者PC画面をブラックアウトする。
- ③ 画面右下の **実行中の機能を全て解除する** をタッチし、【教師PC画面】の送信も【学習者画面のブラックアウト】も全て解除します。



②解除したい機能のみクリアする…実行している機能ボタンを再度タッチしてその機能のみクリアする

■例えば… 『学習者半分に教員PC画面を送信、残りの学習者PC画面をブラックアウトし、ブラックアウト機能のみ解除する』

- ①上記の操作に従って①～②までの操作を行う。
- ②学習者の半分に教員PC画面が送信、残り半分がブラックアウトの状態から、**3 授業支援機能**の **学習者PCを制限する** **学習者のモニターをブラックアウトする** ボタンを**もう一度** タッチします。
- ③ **学習者のモニターをブラックアウトする** 機能のみ解除され、コンソール上では半分の学習者PCに教員PC画面が送信されている状態になります。



# PC@LL Ver13.0 コンソール

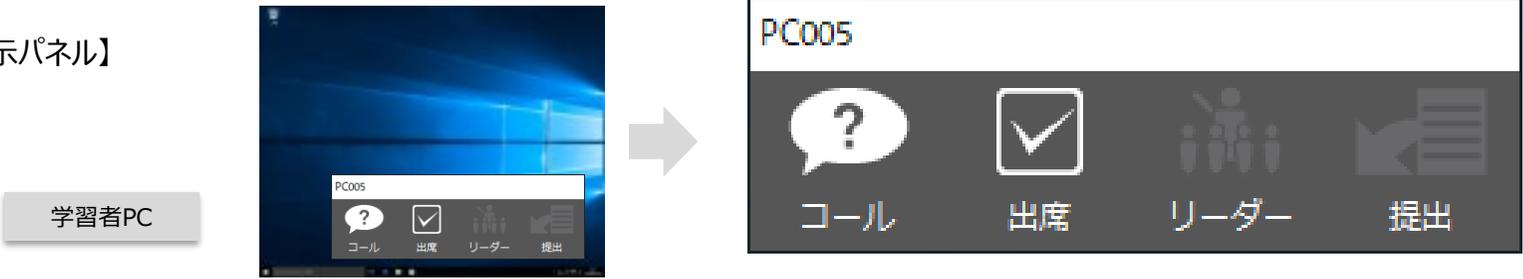
## ■ 学習者表示パネル

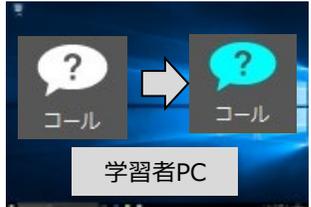
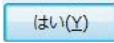
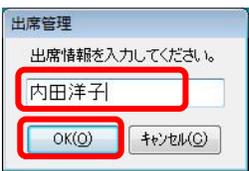
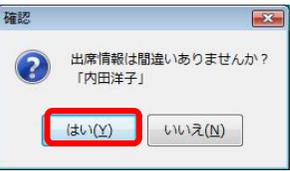
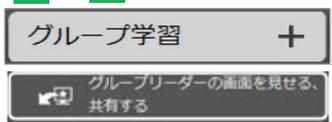
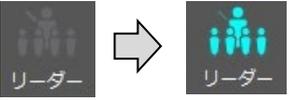
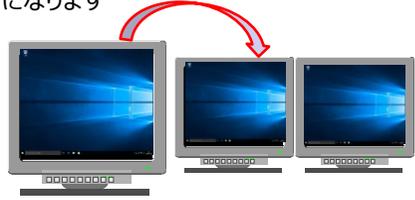
(※学生側の操作です)

# 学習者表示パネルについて ① (学習者側PC上に表示されます)

学習者PC上に【学習者表示パネル】が表示されます。

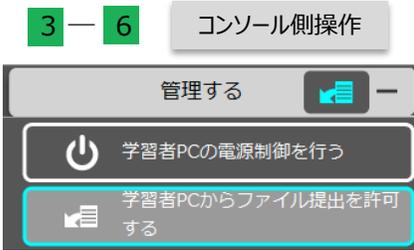
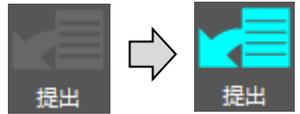
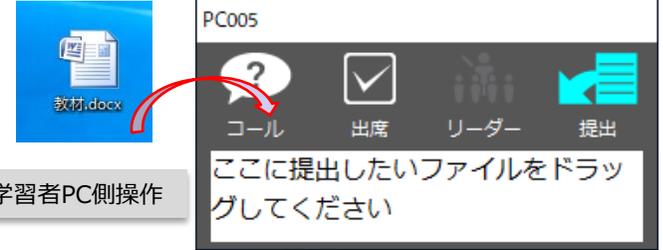
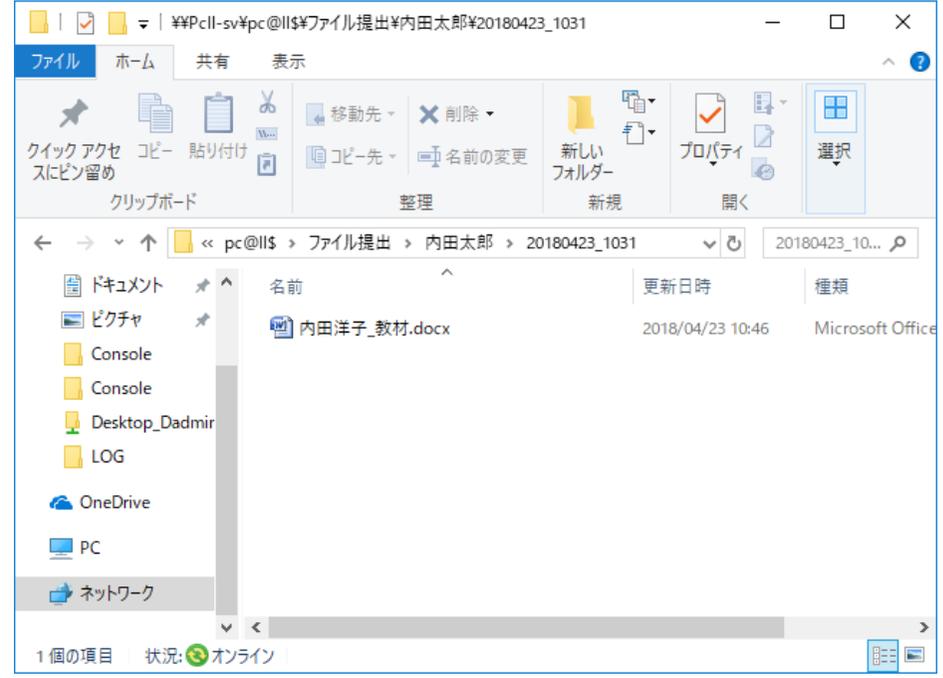
【学習者表示パネル】



アイコン	操作方法	
 <p>学習者側がクリックするとコンソール画面で呼び出しを確認できます</p>	<p>① ボタンをクリック</p>  <p>② コールボタンが青くなります</p>  <p>学習者PC</p>	<p>③ コンソールの【コールレスポンス】ボタンと【学習者座席】ボタンが赤くなります</p> 
 <p>【出席者管理】ウィンドウに氏名を入力するとコンソールに氏名が表示されます</p>	<p>① ボタンをクリック</p>  <p>② 出席情報を入力し、間違いがなければ  をクリック</p>  <p>確認</p>  <p>③ 学習者表示パネルの上部にある【学習者1】から【出席者情報】に入力された内容に表示が変更し、出席ボタンの表示が青に変わります。</p> 	<p>※コンソールの学習者座席ボタンの表示内容も変更されます。</p> 
 <p>グループ学習をする場合、リーダーの画面を共有しながら学習していきます</p>	<p>※コンソール側で【授業支援エリア】→【グループ学習】をクリックしないとボタンが有効になりません。(通常はグレーアウト状態です)</p>  <p>① (ボタンが有効になったら) リーダーの学習者がアイコンをクリック。ボタンが青になります</p>  <p>② グループになっているPCにリーダーの画面が転送され、マウス・キーボードが共有になります</p> 	<p>※コンソール側で【グループ学習】を解除すれば自動で画面共有は解除されます</p>

※【グループ学習】「処理対象グループ設定」にて設定されたグループメンバー間で実行されます。

# 学習者表示パネルについて ② (学習者側PC上に表示されます)

アイコン	操作方法
<div data-bbox="99 199 207 307">  <p>提出</p> </div> <p data-bbox="58 349 269 406">学習者から教師にファイルを提出します。</p>	<div data-bbox="321 207 756 364"> <p>※コンソール側で 【授業支援エリア】→【管理する】→【学習者PCからファイル提出を許可する】をクリックしないとボタンが有効になりません(通常はグレーアウト状態です)</p> </div> <div data-bbox="331 385 745 635">  </div> <div data-bbox="777 207 1243 264"> <p>①.(ボタンが有効になったら) 提出アイコンをクリック。ボタンが青に変わります</p> </div> <div data-bbox="808 278 1108 392">  </div> <div data-bbox="880 456 1067 492"> <p>学習者PC側操作</p> </div> <div data-bbox="1346 207 2020 264"> <p>②.学習者表示パネルの下側に提出エリアが表示されます。提出したいファイルをこのエリアにドラッグアンドドロップします。</p> </div> <div data-bbox="1274 278 1937 528">  </div> <div data-bbox="1253 456 1440 492"> <p>学習者PC側操作</p> </div> <div data-bbox="310 678 984 714"> <p>ファイルはPC@LL共有フォルダの「ファイル提出」に提出されます。</p> </div> <div data-bbox="331 728 953 949"> <p>①.教師側ではPC@LL共有フォルダの「ファイル提出」に提出されます。 フォルダは、 【PC@LL共有フォルダ】⇒【ファイル提出】フォルダ⇒【教師PCのログオンID】フォルダ⇒【『学習者PCからファイルの提出を許可する ボタンを押した日時』のフォルダ】⇒【『学習者名_ファイル名.拡張子』となります</p> </div> <div data-bbox="1046 671 1989 1349">  </div>

## PC@LL Ver13.0 コンソール

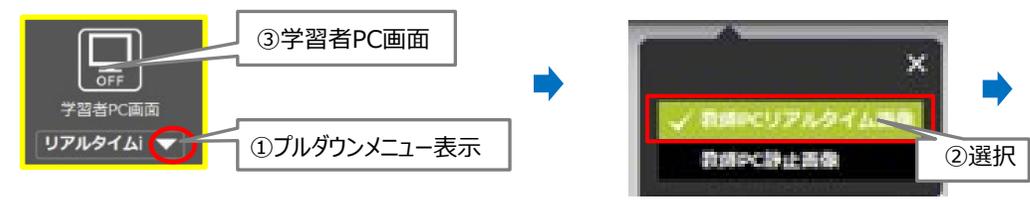
- 教師 P C画面の学習者画面への送信
- 学習者 P C画面のプロジェクター投映
- 学習者PC画面一覧表示

# ■【学習者全員のPC画面に教師PC画面を送る】

学習者全員のPC画面に【教師PC画面をリアルタイムで表示】あるいは【教師PC静止画像】を送る



- ①【学習者の映像・音声】の中から▼ボタンをタッチし、プルダウンメニューを表示させます。
- ②プルダウンメニューから【教師PCリアルタイム画像】を選択します。
- ③【学習者PC画面】をタッチします。(学習者PC画面ON状態)
- ④全学習者PC画面に教師PC画面がリアルタイムに表示されます。



**Point!**【教師PCリアルタイム画像】  
教師PCで操作している様子をそのままリアルタイムで学習者に送信します。



**Point!**【教師PCリアルタイム画像】や【教師PC静止画像】を学習者個別に送信する場合は？

- ①【授業支援機能】→【見る・聞かせる】→【教師PC画面を見せる】→(メニューから)【個別】を選択します。
- ②プルダウンメニューから【教師PCリアルタイム画像】あるいは【教師PC静止画像】を選択します。
- ③座席レイアウトボタンから教師PC画像を送りたい学習者ボタンをタッチします。教員PC画像が任意の学習者に送信されます。

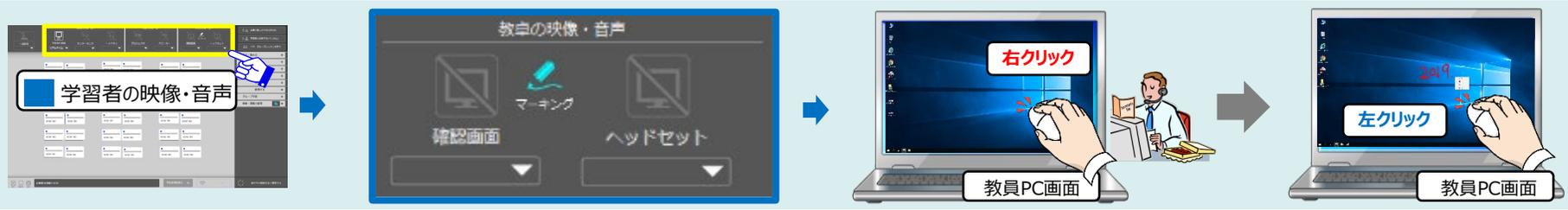


**Point!**【教師PC静止画像】  
教師PCで操作し、プルダウンメニューで【教師PC静止画像】を選択した瞬間に(教師PCを)キャプチャした静止画像です。キャプチャされた画像は残りません。次にこの操作を行うとその瞬間のキャプチャ画像が変わります。

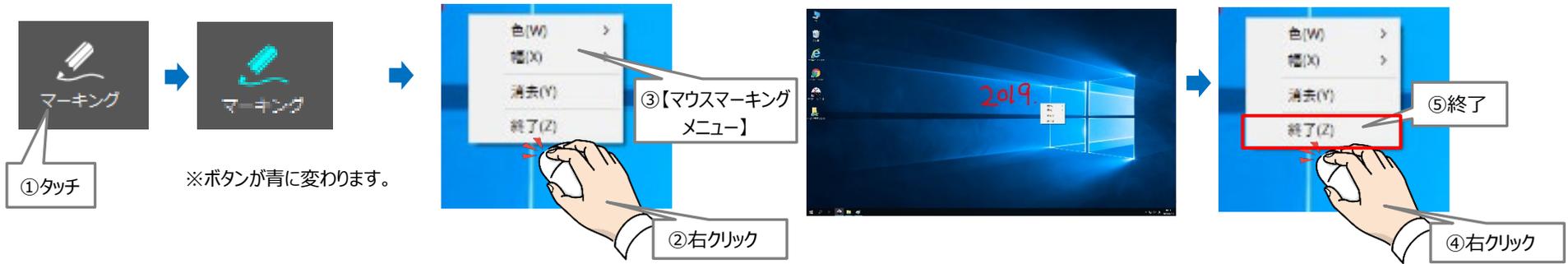


# ■【教師PC画面にマーキングする】

【教師PC画面】上でマウスマーキングを行う（プロジェクターを通して投射します）



- ①コンソールの【学習者の映像・音声】の中から【マーキング】ボタンをタッチします。【マーキング】ボタンが青に変わります。
- ②教師PC画面上でマウスを**右クリック**します。マウスカーソル右側に【マウスマーキングメニュー】が表示されます。（色や線の太さを変更します）
- ③【教師PC画面】でマウスマーキングを開始します。（マウスを**左クリック**したままマーキングをします）
- ④【マーキング】を終了するには再度右クリックをしメニューから【終了】を選択します。

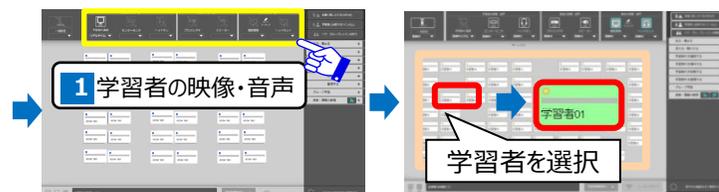


## ■【学習者PC画面をプロジェクタに投映する】

学習者PC画面をプロジェクタに送る（※プロジェクターは教員PCのみ投映します。）

①教員PCを起動し、コンソールを起動する。

②プロジェクターの電源を入れる。



①教員PCの電源を入れコンソールを起動する。

プロジェクターの電源もONにします。

※学習者PCをプロジェクタに投映させるときは一度コンソール内で【枠内受信】をし、セカンダリのコンソールの画像をメインモニターへ移動させてプロジェクターへ投映します。

②学習者PCをモニタリングする

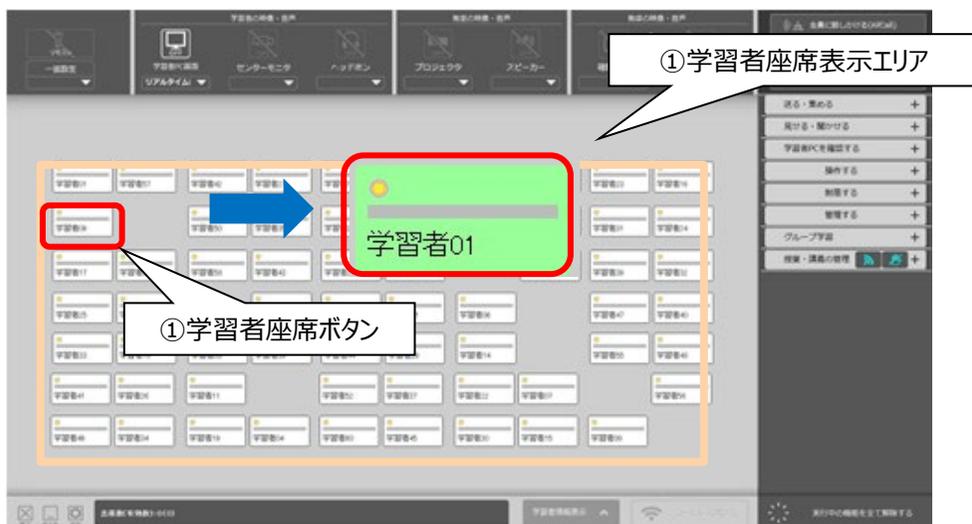
次のいずれかの方法にて学習者PC画面をモニタリングします。

- 1)【学習者座席ボタンエリア】からセンターモニターに出力させたい学習者を直接タッチして選択します。
- 2)【授業支援機能】の【学習者PCを確認する】から【学習者PC画面と音声を確認する】を選択し、1)と同様に学習者座席ボタンをタッチし、選択します。

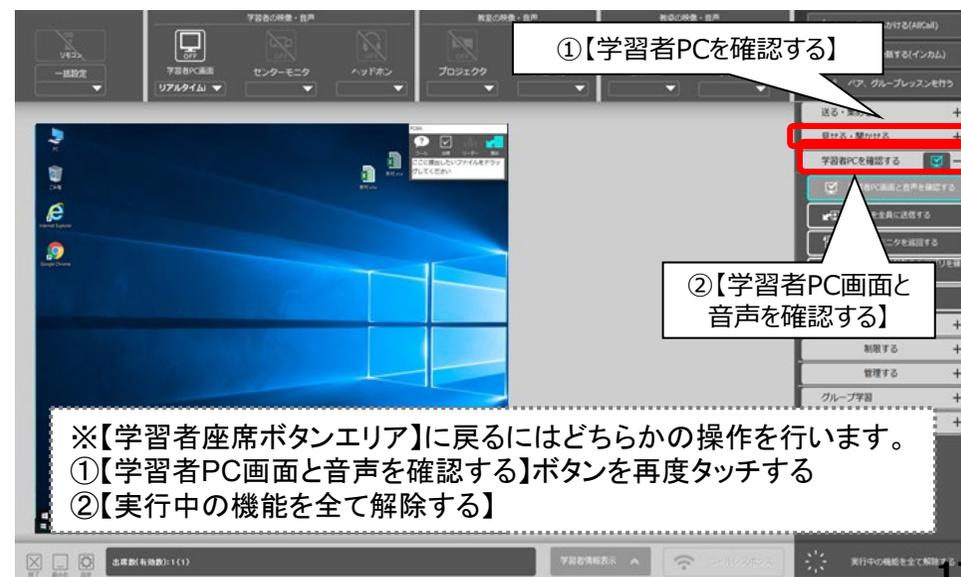
③コンソール内に学習者PC画面が表示

学習者PC画面がコンソールにて枠内受信します。この時点で選択されている学習者PC画面がプロジェクターに表示されます。学習者を変更したい場合は、【学習者座席ボタンエリア】に戻り、別の学習者ボタンをタッチします。

（※対象の学習者を変更したい場合も、モニタしたい学習者の座席ボタンを順次押します）



※コンソールPCで学習者PC画面の枠内受信中

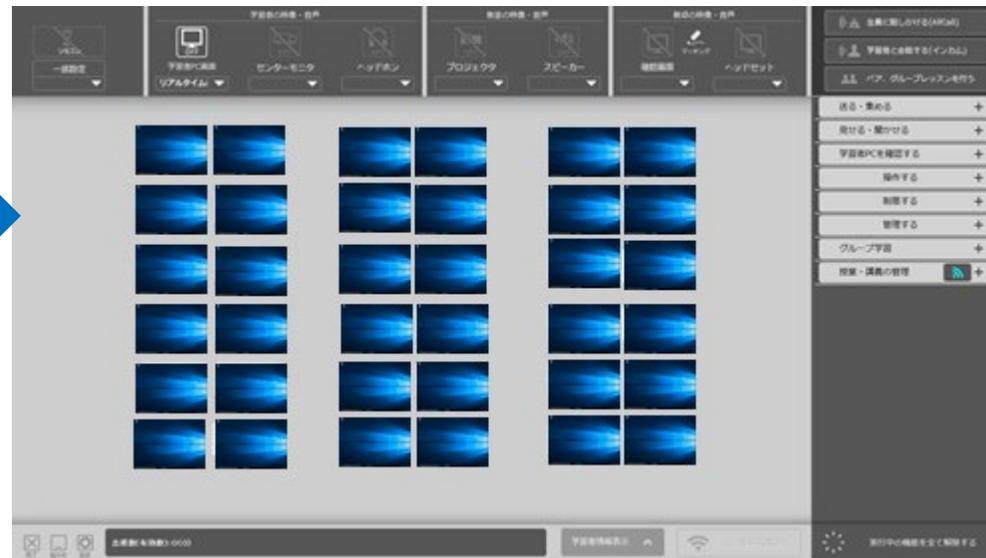


## 全学習者のPC画像を一度に確認したい

① 6【学習者情報表示】ボタンをクリックする



②コンソール画像が学習者のPC画像一覧表示に変更されます



※通常表示は、レイアウト表示です。  
【設定】→【一般設定】→【分割画面数】を押すことによって、  
4・16・25・49・64分割まで表示設定する事ができます。

※【学習者情報表示】モードの時に、任意の学生をモニタリングしたい時は  
学習者のモニタ表示をダブルクリックします。プレビューモニターで学習者の  
PC画像を確認できます。

# PC@LL Ver13.0 コンソール

## ■【授業支援機能】

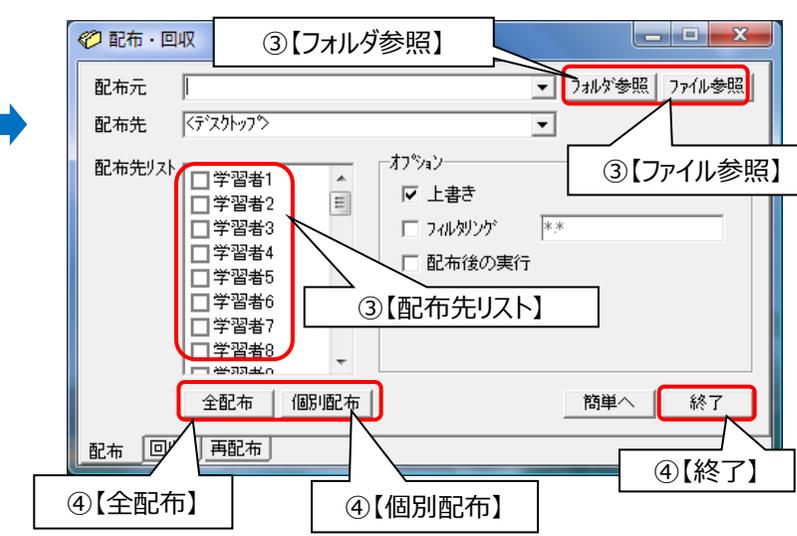
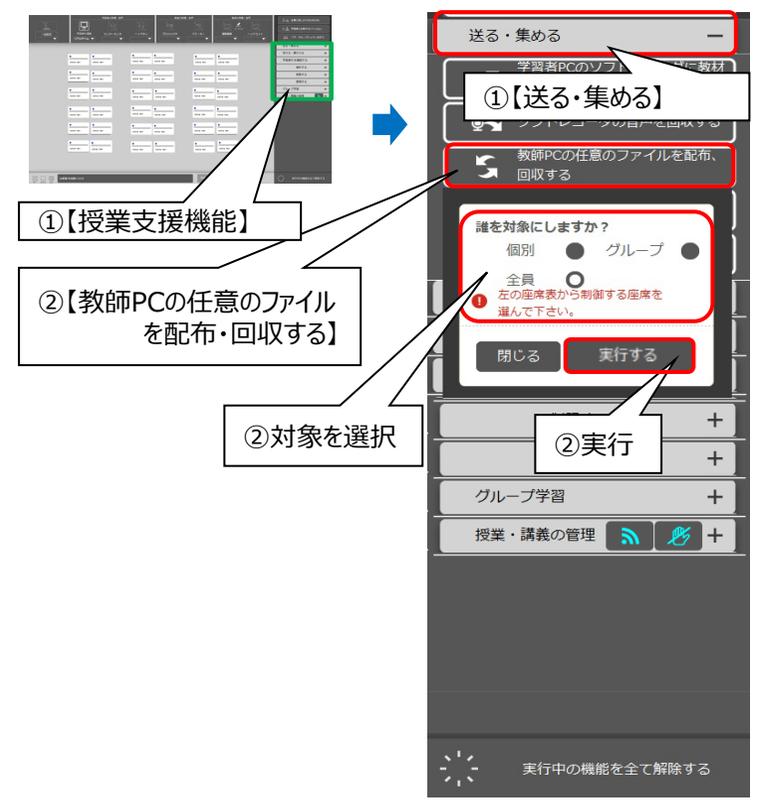
# PC@LL Ver13.0 コンソール

- 【送る・集める】

教師PCから学習者にファイルを配布したい

教師PCやファイルサーバーから教材ファイルを学習者PCに配布する（回収する）

- ① 3【授業支援機能エリア】【送る・集める】をクリックします。
- ② 【教師PCの任意のファイルを配布・回収する】を選択します。ナビウインドウが表示されます。対象者を指定し【実行する】を押します。
- ③ 教師PC上に【配布・回収ウィンドウ】が表示されます。配布したい教材を【フォルダ参照】または【ファイル参照】ボタンをクリックし、配布対象を指定します。（既に対象は選択されていますが、さらに絞ることができます）
- ④ 【全配布】あるいは【個別配布】を選択すると、教材ファイルの配布が始まります。配布終了後は【終了】ボタンで終了します。



- 【教材の全員配布】：
  - ①【全配布】ボタンを押します。配布先リストに常時されている全学習者PCへ教材ファイルがコピーされます。
  - ②フォルダを配布元に指定すると、フォルダ内の全ファイルが配布先のPCへコピーされます。
  - ③配布されると、配布先リストの実行された学習者名の左のチェックマークが表示されます。
- 【教材の個別配布】：
  - ①配布したい学習者を【配布先リスト】内から、選択します。学習者PC番号左のチェックボックスに、チェックをします。
  - ②【個別配布】ボタンを押します。
  - ③配布が成功すると、配布先リストの実行された学習者名の左に、チェックマークが表示されます。

**Point!** 【オプション】について

- 【上書き】：配布先に同じ名前のファイル・フォルダが存在した場合、上書きでコピーさせることができます。
- 【フィルタリング】：指定した拡張子のファイルのみ配布。配布元にフォルダが指定されてファイルが複数存在する場合に有効です。
- 【配布後の実行】：ファイル配布後、自動でファイルが開き起動します。

# 【送る・集める】教師PCの任意のファイルを配布・回収する②

## 学習者に配布したファイルを回収したい

(※学習者PCへ【配布】した教材ファイル以外は回収できません)

## 教師PCから学習者PCに配布したファイルやフォルダを回収したい

① 41ページの①②と同じ操作を行ないます。

②教師PC上に【配布・回収ウィンドウ】が表示されます。  
【回収】タブをクリックすると【回収】のウィンドウに替わります。

③【回収元】と【回収先】を指定します。  
回収対象を指定します。  
(既に対象は選択されていますが、さらに絞ることができます)

④【全回収】あるいは【個別回収】を選択すると、教材ファイルの回収が開始されます。  
【終了】ボタンで終了します。

送る・集める

送る・集める

教師PCの任意のファイルを配布・回収する

誰を対象にしますか？  
個別 ● グループ ●  
全員 ○  
左の座席表から制御する座席を選んで下さい。

実行する

対象を選択

実行

配布・回収

②【回収】タブ

③【回収先フォルダ参照】

フォルダ参照

③【回収元】

③【回収先リスト】

④【終了】

### ■【全学習者の教材を回収する】:

- ①【全回収】ボタンを押します。
- ②全学習者の回収元フォルダ内ファイルが回収先フォルダにコピーされます。
- ③回収が終了すると回収先リストの実行された学習者名の左にチェックマークが表示されます。

### ■【個別に教材を回収する】:

- 回収学習者を任意に指定し、ファイル回収することができます。
- ①回収する学習者を【回収先リスト】から選択します。(※学習者名の左チェックボックスにチェックします。)
- ②【個別回収】ボタンを押します。
- ③回収が終了すると、回収先リストの実行された学習者名の左にチェックマークが表示されます。

### Point! 【オプション】について

- 【回収後のファイル削除】: 回収を実行後、回収元のファイルを削除して学習者PCに残らないようにします。
- 【名前の付加フォルダの作成】: 回収先フォルダ内に、学習者名のフォルダを自動作成し、その中に回収ファイルをコピーします。
- 【日付・時間・名前の付加フォルダの作成】: 回収先フォルダ内に、回収実行時間+学習者名のフォルダを自動作成し、中に回収ファイルをコピーします。

(※【日付・時間・名前の付加フォルダ作成】【名前の付加フォルダ】二つのオプションは同時に指定できません。)

# 【送る・集める】 教師PCの任意のファイルを配布・回収する③

## 学習者に配布、回収したファイルを再配布したい

(※学習者PCへ【配布】した教材ファイル以外は回収も再配布もできません)

## 学習者へ配布したファイルを回収し、再配布する

① 41ページの  
①②と同じ操作をします。

② 教師PC上に【配布・回収ウィンドウ】が表示されます。  
【再配布】タブをクリックすると【再配布】のウィンドウに替わります。

③ 【再配布元】と【再配布先】を指定します。  
再配布対象を指定します。  
(既に対象は選択されていますが、さらに絞ることができます)

④ 【全再配布】あるいは【個別再配布】を選択すると、教材ファイルの再配布が開始されます。再配布終了後は【終了】ボタンで終了します。

①【送る・集める】

②【再配布】タブ

③【再配布元フォルダ参照】

③【再配布元】

③【再配布先リスト】

②【再配布】ウィンドウ

④【終了】

【教師PCの任意のファイルを配布・回収する】

対象を選択

実行

- 【教材の全員再配布】：
  - ①【全再配布】ボタンを押します。配布先リストに表示されている全学習者PCへファイルがコピーされます。
  - ②再配布が終了すると、配布先リストの実行された学習者名の左にチェックマークが表示されます。
- 【教材の個別再配布】：
  - ①任意に再配布したい学習者を【配布先リスト】内から選択します。学習者PC番号左のチェックボックスにチェックします。
  - ②【個別再配布】ボタンを押します。
  - ③再配布が終了すると配布先リストの実行された学習者名の左にチェックマークが表示されます。

**Point!** 【オプション】について

【回収ファイル名】：回収時のファイル名を表示します。

【回収日付・時間】：回収時の回収日付・時間が表示されます。

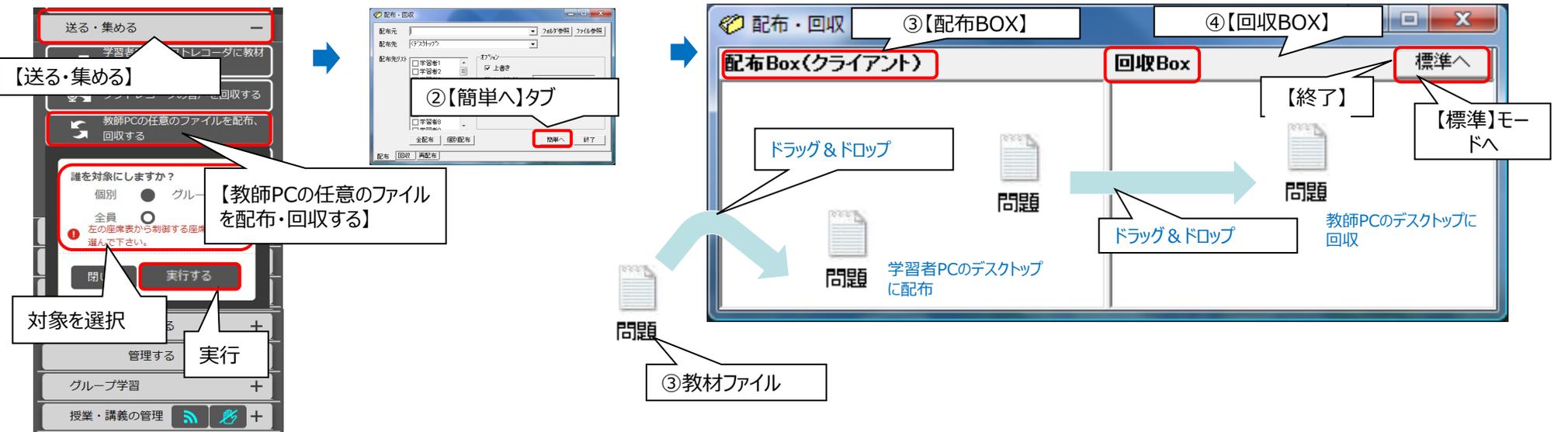
学習者に簡単にファイルを配布したい

ドラッグ&ドロップ操作で教材ファイルを学習者PCへ配布・回収する

(※学習者PCへ【配布】した教材ファイル以外は回収も再配布もできません)

- ① 41ページの①②と同じ操作をします。
- ② 教師PC上に【配布・回収ウィンドウ】が表示されます。  
【簡単へ】ボタンをクリックすると、デスクトップに【配布・回収BOX】が表示されます。
- ③ 【配布・回収BOX】の【配布BOX】に配布したい教材ファイルをドラッグ&ドロップします。  
ドラッグ&ドロップされたファイルが学習者のデスクトップに配布されます。
- ④ 【配布・回収BOX】の【回収BOX】に回収したい教材ファイルをドラッグ&ドロップします。  
ドラッグ&ドロップされたファイルが教師PCのデスクトップに自動作成された【回収フォルダ】に回収されます。

※この時、学習者側にある回収対象ファイルは自動で削除されます。



教師から学習者にメッセージを送りたい

教師PCから学習者【個別】【グループ】【全員】に対し、メッセージを表示する

- ① 3【授業支援機能エリア】【送る・集める】をクリックします。
- ②【教師PCから、メッセージを送信する】を選択します。
- ③ナビウィンドウが表示され、メッセージを送る対象を選択します。
- ④【何を送りますか？】から【定型文】あるいは【自由入力】のどちらかを選択します。
- ⑤メッセージの種類を選択後【実行】ボタンをタッチします。学習者PCの画面に下記のようなメッセージウィンドウが表示されます。



⑥メッセージ送信の終了は学習者側で【閉じる】を押す、あるいはコンソールの【実行中に機能を全て解除する】ボタンで解除して下さい。

※学習者側に表示されるメッセージウィンドウは、コンソールから解除できません。学習者側で【閉じる】をクリックするか、あるいは表示後30秒後に自動で閉じるまで待ちます。

**Point! 【メッセージ送信】について**

■【定型文】（登録済メッセージ）

- ①【何を送りますか？】から【定型文】を選択する。
- ②【メッセージウィンドウ】から送信したいメッセージを選択する。
- ③【対象】を選択し、【実行】タッチする。

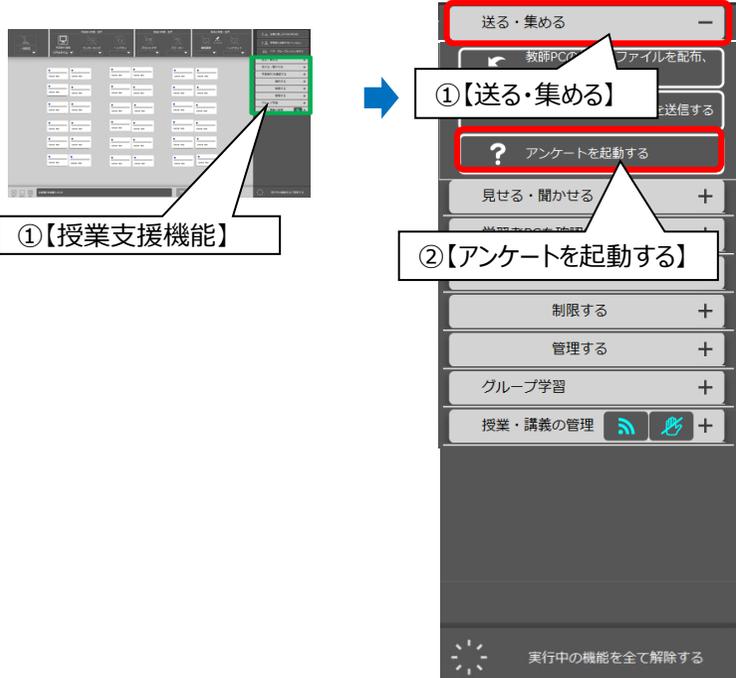
■【自由入力】（メッセージ入力）

- ①【何を送りますか？】から【自由入力】を選択する。
- ②【メッセージ入力エリア】をクリックし、カーソルが表示されたら送信したいメッセージを入力する。
- ③【対象】を選択し、【実行】をタッチする。

授業中、学習者にアンケートをとりたい

学習者にアンケートを取り、ペアやグループ設定に反映させたい

- ① 3【授業支援機能エリア】【送る・集める】をクリックします。
- ② 【アンケートを起動する】を選択します。
- ③ ボタンをタッチすると教師用アンケート画面の表示・非表示が切り替わります。教師PC上に下図のような教師用アンケート画面が表示されます。
- ④ 機能をクリアする時は教師用アンケート画面右上の  ボタンあるいは【アンケートを起動する】ボタンをタッチします。




①【送る・集める】

②【アンケートを起動する】

アンケートのタイトル入力

アンケート選択肢番号

アンケート回答状況の結果表示

アンケート締切

開始 締切 公開

アンケート開始

アンケート結果公開

アセスメント保存

アセスメント保存

④【終了】

グラフ切替

棒グラフ 円グラフ

グラフ表示エリア

回答結果

生徒名 回答 応答(秒) 接続

学習者1  
学習者2  
学習者3  
学習者4  
学習者5  
学習者6  
学習者7  
学習者8  
学習者9  
学習者10

学習者の回答・応答  
接続状態の表示

**Point!** 【アンケート】の取り方について

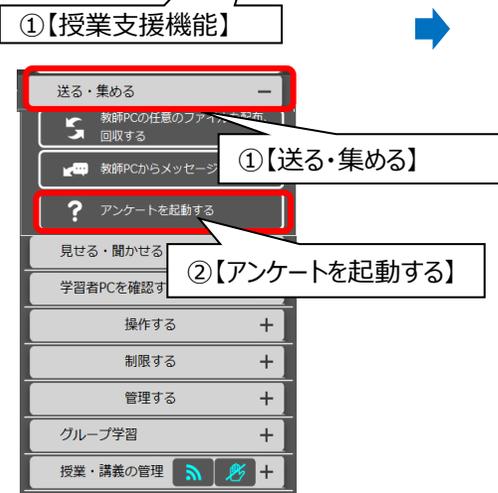
- ① アンケートタイトルを入力する
- ② <1~5> の選択肢番号の横に選択肢を入力する。
- ③ 【開始】をクリックする
- ④ 学習者PC上にアンケート回答画面が表示されます
- ⑤ 学習者は番号をクリックしアンケートに回答する
- ⑥ 教師PC上にアンケート結果がリアルタイムで表示される
- ⑦ 【締切】ボタンでアンケートを閉切します。
- ⑧ 【公開】ボタンで学習者にアンケート結果を公開する。




学習者に簡単な問題に回答させる

復習や予習状況を確認するため学習者に問題を出題し、答え合わせをする

- ① 3 【授業支援機能エリア】 【送る・集める】 【アンケートを起動する】 をクリックします。
- ② ボタンをタッチすると教師用アンケート画面の表示・非表示が切り替わります。教師PC上に下図のような教師用アンケート画面が表示されます。
- ③ 下図【問題】の出題方法についてを参照して問題の正解を入力し、操作します。
- ④ 機能をクリアする時は教師用アンケート画面右上の ボタンあるいは【アンケートを起動する】ボタンをタッチします。



**Point!** 【問題】の出題方法について

- ① 問題を入力する
- ② <1~5> の選択肢番号の横に回答の選択肢を入力する。
- ③ 【正解】番号をクリックし、番号を黄色に反転させる
- ④ 【開始】をクリックする
- ⑤ 学習者PC上に回答画面が表示される
- ⑥ 学習者は番号をクリックし回答する
- ⑦ 教師PC上に学習者の回答結果がリアルタイムで表示される
- ⑧ 【締切】ボタンで回答を閉め切る
- ⑨ 【公開】ボタンで学習者に回答結果を公開する。

学生回答画面

公開

正解

不正解

授業中、学習者に小テストを実施したい

授業の理解度を確認したい

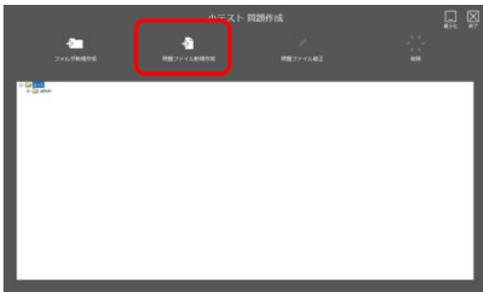
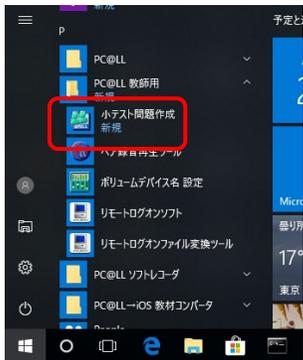
問題作成まで

① 教師PCのスタートメニューから【小テスト問題作成】をクリックします。

② 下のフォルダから、問題を作成するフォルダを指定して【問題ファイル新規作成】ボタンを押します。

③ .穴埋め問題／並べ替え／穴埋め選択問題／選択問題・アンケート／自由記述のいずれかを選択します。

④ .画面に従って問題を作成します。問題毎の作成方法は次項以降を参照してください。



授業中、学習者に小テストを実施したい

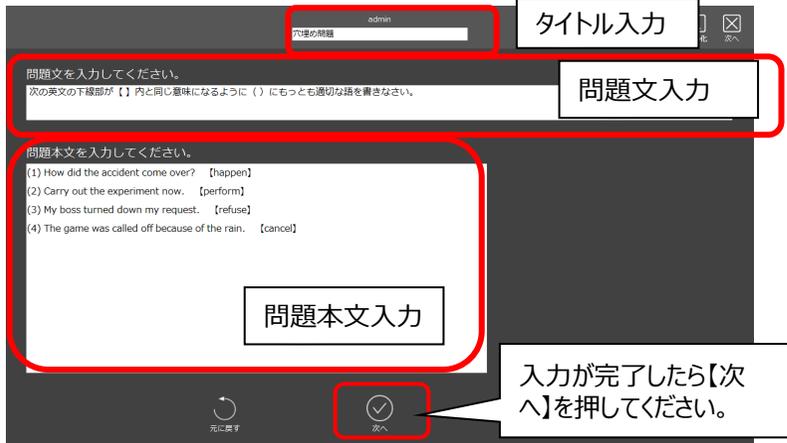
授業の理解度を確認したい

穴埋め問題の作成手順

① 【穴埋め問題】ボタンを押します。



② タイトル、問題文、問題本文を入力します。この時、問題本文は穴あけ前の正解文章を入力します。



③ .問題本文の穴埋めしたい単語を選択し、【追加】ボタンを押してください。



⑤.すべての問題を登録したら、【完了】ボタンを押します。



④.追加された単語は正解欄に登録されます。この操作を繰り返して、単語の穴を追加します。



授業中、学習者に小テストを実施したい  
並べ替え問題の作成手順

授業の理解度を確認したい

① 【穴埋め問題】ボタンを押します。



② タイトル、問題文、問題本文、並び替え文章を入力します。  
すべて入力できたら【完了】ボタンを押します。



入力が完了したら【完了】を押してください。

授業中、学習者に小テストを実施したい

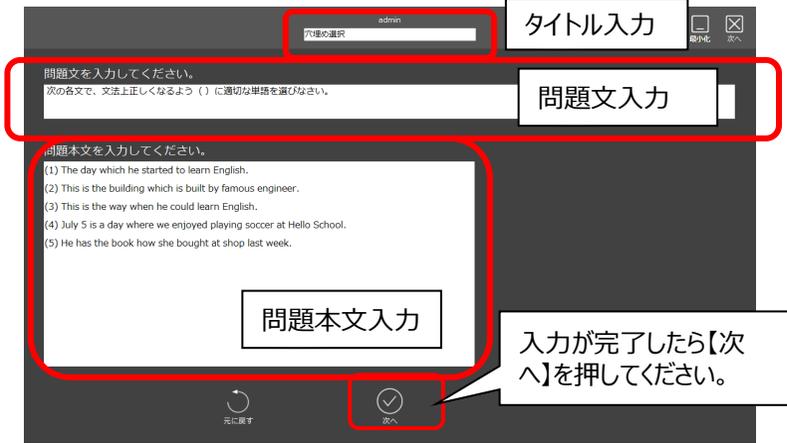
授業の理解度を確認したい

穴埋め選択問題の作成手順

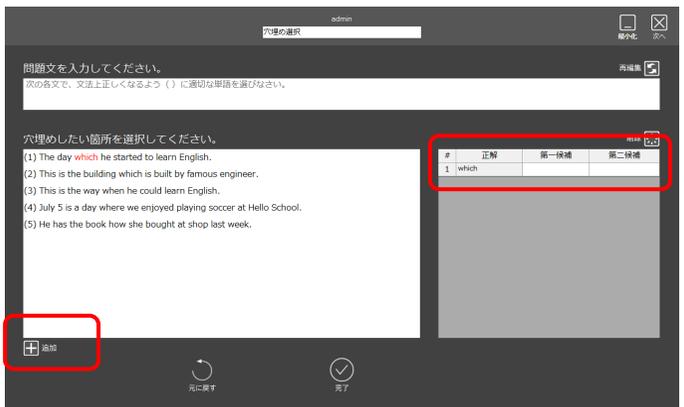
①【穴埋め選択問題】ボタンを押します。



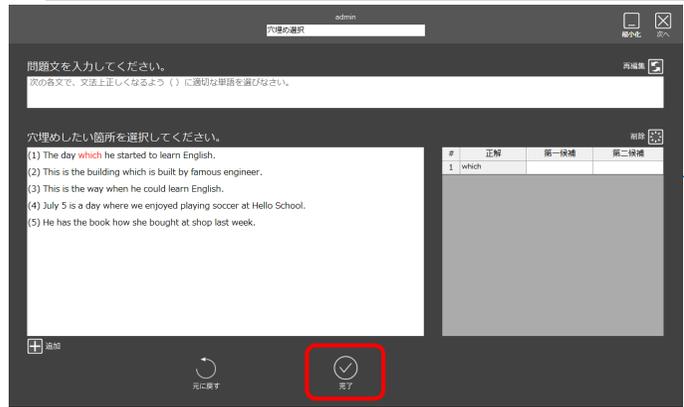
②タイトル、問題文、問題本文を入力します。  
この時、問題本文は穴あけ前の正解文章を入力します。



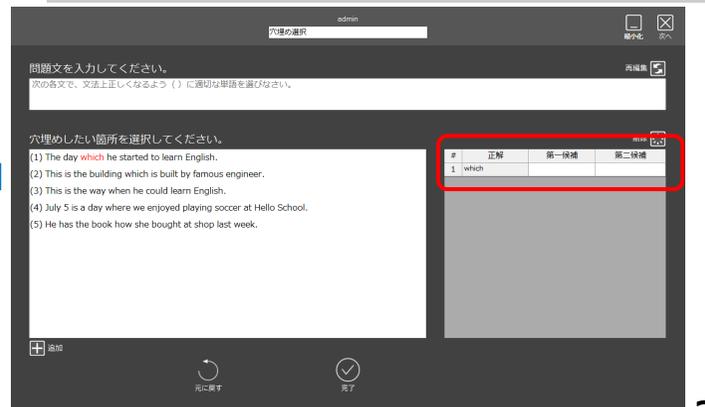
③.問題本文の穴埋めしたい単語を選択し、【追加】ボタンを押します。



⑤.操作を繰り返して、単語の穴を追加します。  
すべての問題を登録したら、【完了】ボタンを押します。



④.登録した正解毎に選択肢を登録します。  
選択肢は正解以外に2つ登録でき、各問題毎に3択問題が作成できます。



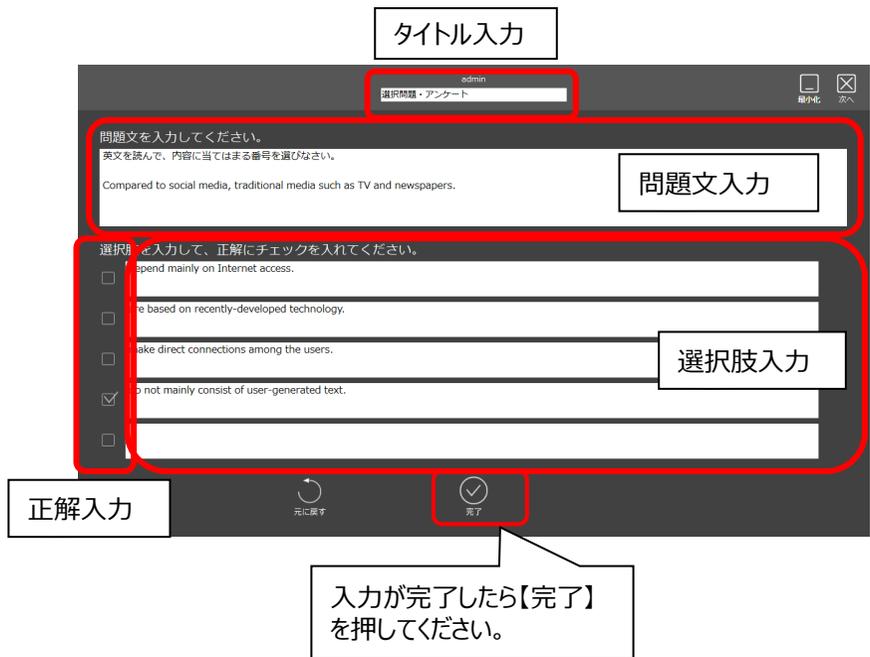
授業中、学習者に小テストを実施したい  
選択問題・アンケートの作成手順

授業の理解度を確認したい

①【選択問題・アンケート】ボタンを押します。



②タイトル、問題文、選択肢、正解を入力します。  
すべて入力できたら【完了】ボタンを押します。

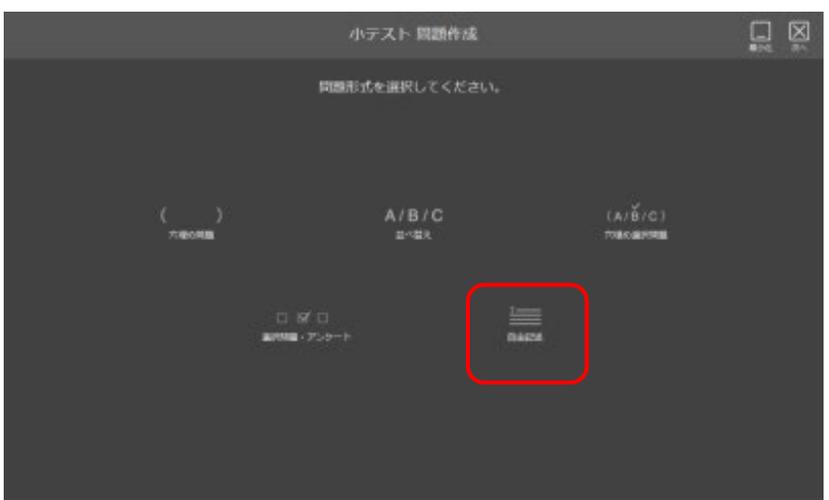


授業中、学習者に小テストを実施したい

授業の理解度を確認したい

自由記述問題の作成手順

①【自由記述問題】ボタンを押します。



②タイトル、問題文を入力します。  
すべて入力できたら【完了】ボタンを押します。



入力が完了したら【完了】  
を押してください。

自由記述問題は正誤判定がありません。  
このため、正解は設定できません。

授業中、学習者に小テストを実施したい

新規に問題を選択して実施。

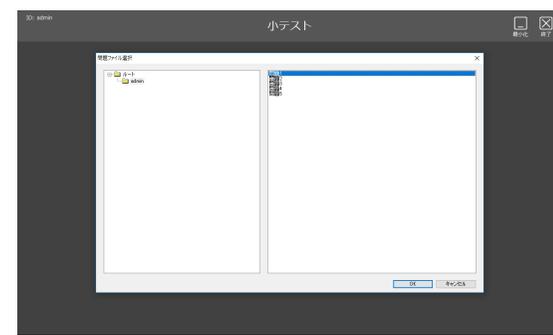
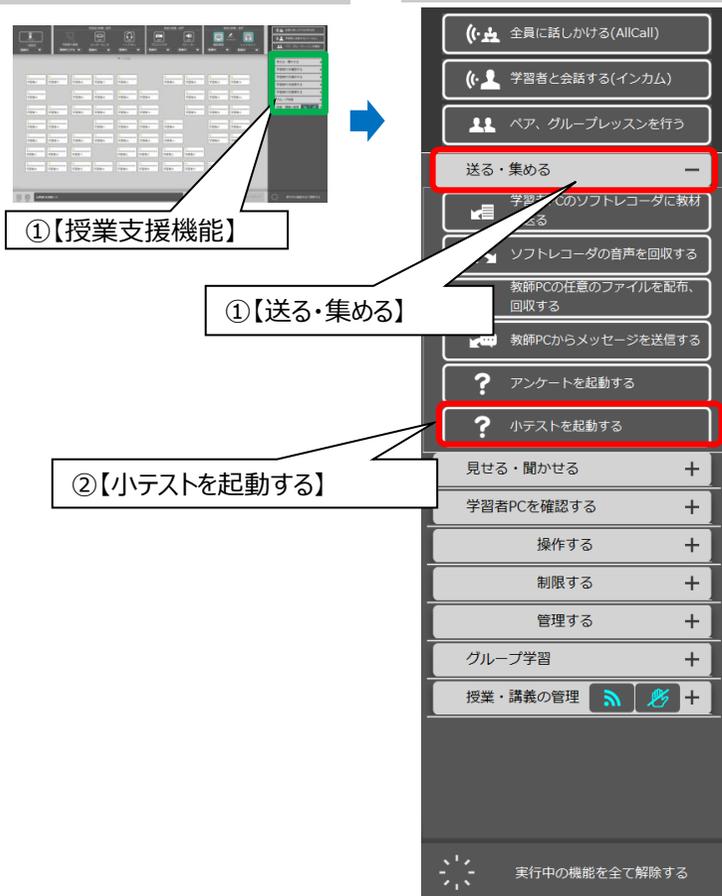
授業の理解度を確認したい

① 3【授業支援機能エリア】  
【送る・集める】をクリックします。

②【小テストを起動する】を  
選択します。

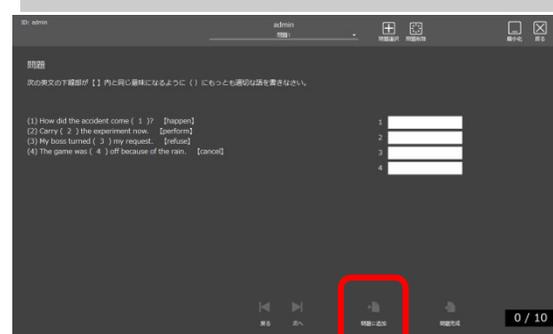
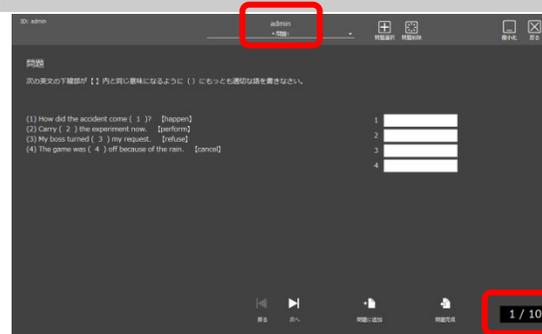
③教師PC上に下図のような小テスト画面が  
表示されます。  
【新規で問題を作成する】ボタンを押してくだ  
さい。

④教材選択画面が表示されますので、教材か  
ら「小テスト」で利用したい教材を選択して  
【OK】ボタンをクリックしてください。



⑥登録された問題は、問題名の先頭に「\*」  
印が付きます。  
また、問題数がカウントアップされます。

⑤教材が読み込まれます。  
この問題を利用する場合は、【問題に追  
加】をクリックしてください。



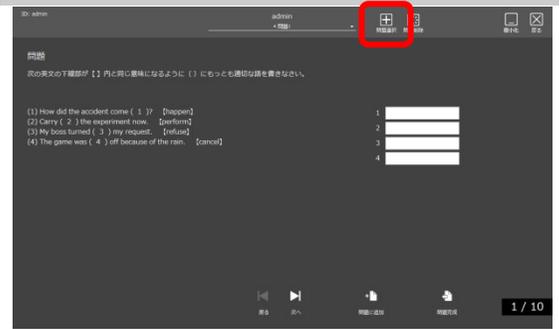
次項に続きます。

授業中、学習者に小テストを実施したい

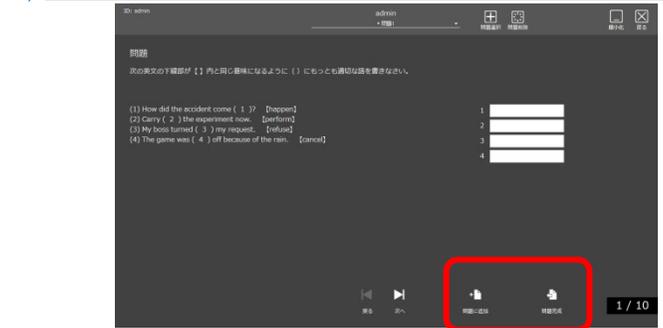
授業の理解度を確認したい

前項より

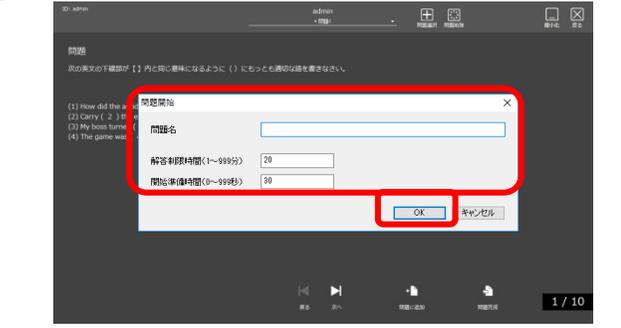
⑦問題を追加する場合は【問題選択】ボタンを押します。  
問題選択ダイアログが開きますので、追加したい問題を選択します。



⑧選択した問題を利用する場合は、【問題に追加】ボタンを押します。  
問題は最大10問まで選択できます。  
問題として利用しない場合は再度【問題に追加】ボタンを押すことで、問題から削除されます。  
問題が選択出来たら【問題完成】ボタンを押します。



⑨問題開始画面が表示されます。  
問題名、解答制限時間、開始準備時間を設定して【OK】を押します。



⑩学習者の参加  
下記は、教師と学習者の画面です。  
教師は参加人数、名前が表示される画面になります。  
学習者側では、参加画面になります。  
参加する学生は、【参加】ボタンを押します。  
【参加】ボタンを押した学生は教師側に通知されます。



次項に続きます。

授業中、学習者に小テストを実施したい

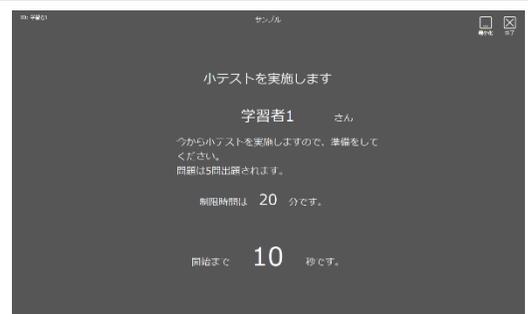
前項より

⑪教師側では参加人数を確認し、全員の参加が確認出来たら、「開始」ボタンを押します。



授業の理解度を確認したい

⑫小テストの確認画面に切り替わります。教師側では解答状況確認画面(グラフ)に切り替わります。参加者側では、開始準備時間で設定された時間のカウントダウンが行われます。

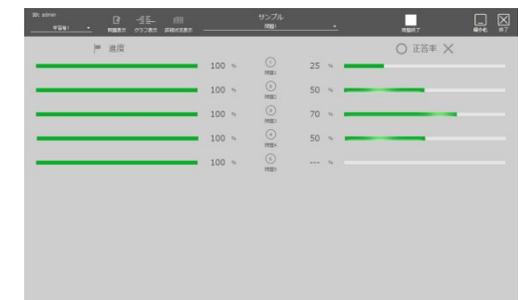


⑬小テストの問題が開始します。参加者側は解答画面に変わり、解答制限時間が表示されます。



⑭小テストの解答終了  
制限時間が経過するか、教師側で「問題終了ボタン」をクリックすることで、小テストの解答が終了します。これにより、参加者側は結果表示画面に切り替わります。

⑭問題実施中の教師画面  
問題実施中、教師側は問題の進捗状況等を確認する事が出来ます。



授業中、学習者に小テストを実施したい  
過去の問題を選択して実施。

授業の理解度を確認したい

① 3【授業支援機能エリア】  
【送る・集める】をクリックします。

②【小テストを起動する】を  
選択します。

③教師PC上に下図のような小テスト画面が  
表示されます。  
【新規で問題を作成する】ボタンを押してくだ  
さい。

④過去に実施した問題選択画面が表示され  
ますので、問題を選択して【OK】ボタンを押  
します。

①【授業支援機能】

①【送る・集める】

②【小テストを起動する】

実行中の機能を全て解除する

過去に実施した問題を開く

新規で問題を作成する

OK

⑤問題開始画面が表示されます。  
問題名、解答制限時間、開始準備時間  
を設定して【OK】を押します。

以降の操作は、【新規に問題を選  
択して実施】と同じです。

問題開始

問題名

解答制限時間(1~999秒) 20

開始準備時間(0~999秒) 30

OK キャンセル

# PC@LL Ver13.0 コンソール

- 【見せる・聞かせる】

学習者に特定のWebサイトを見せたい

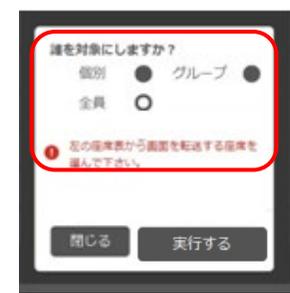
教師が指定したURLを学習者PCのブラウザで表示します。

- ① 3 【授業支援機能エリア】 【見せる・聞かせる】 をクリックします。
- ② 【学習者にWebサイトを見せる】 を選択します。
- ③ 教師PC上に【URL入力】 ウィンドウが表示されます。 学習者に見せたいURLを入力します。
- ④ WEBサイトを見せたい対象 【個別】【全員】【グループ】 を選択します。
- ⑤ 指定された学習者PCでは、 ブラウザーが起動し、入力したURLのページを見せることができます。



※URL入力を中止にする場合は【キャンセル】【OK】を押します。

※URLを入力しただけでは学習者にURLは送られません。必ず対象を指定して下さい。



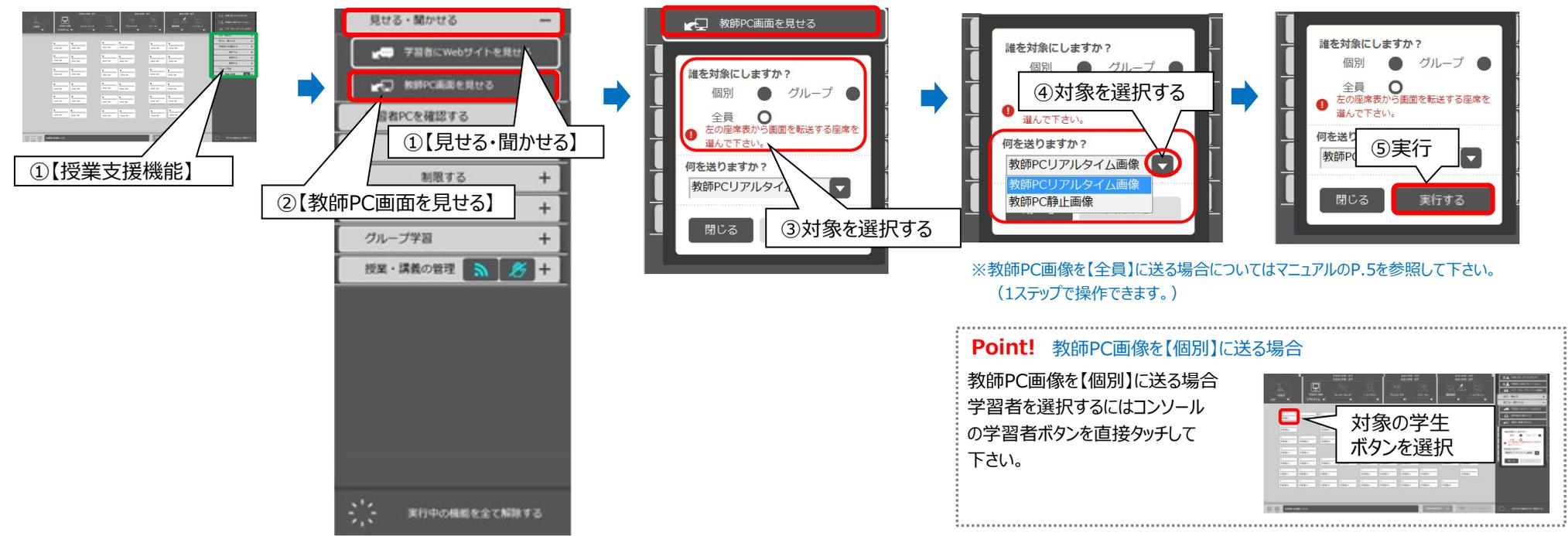
※ブラウザによっては、学習者PCですでにブラウザが起動している場合、そのブラウザ内の表示ページが変更されます。

※URL転送を実行しても学習者PCのInternet Explorerが起動しない場合は、一旦コンソールを起動⇒終了した後でWindowsを再起動して、再度URL転送を実行して下さい。

教師PC画面を学習者に見せたい

教師PC画面を学習者に対し【個別】【グループ】【全員】に見せる

- ① 3 【授業支援機能エリア】 【見せる・聞かせる】 をクリックします。
- ② 【教師PC画面を見せる】 を選択します。
- ③ ナビウィンドウが表示されます。メッセージに従い対象を【個別】【グループ】【全員】の中から選択します。
- ④ ▼マークをタッチし、教師PC画面の【教師PCリアルタイム画像】あるいは【教師PC静止画像】を選択します。
- ⑤ 【実行】ボタンをタッチします。学習者PCに教師PC画像が送られます。



**Point!** 教師PC画像を【個別】に送る場合

教師PC画像を【個別】に送る場合  
学習者を選択するにはコンソールの学習者ボタンを直接タッチして下さい。

対象の学生ボタンを選択

**Point!** 教師PC送信画面について

【教師PCリアルタイム画像】 → 教師PCで操作している様子をそのままリアルタイムで学習者に送信します。

【教師PC静止画像】 → 教師PCで操作し、プルダウンメニューで【教師PC静止画像】を選択し瞬間に（教師PCを）キャプチャした静止画像です。キャプチャされた画像は残りません。次にこの操作を行うとその瞬間のキャプチャ像が変わります。

# PC@LL Ver13.0 コンソール

- 【学習者PCを確認する】

学習者のPC画面を見たい

任意の学習者のPC画面をモニタリングします。（音声も受信します）

座席ボタンでモニタリングする

授業支援機能からモニタリングする

① 4 【学習者座席表示エリア】  
【学習者座席ボタン】  
を直接タッチします。

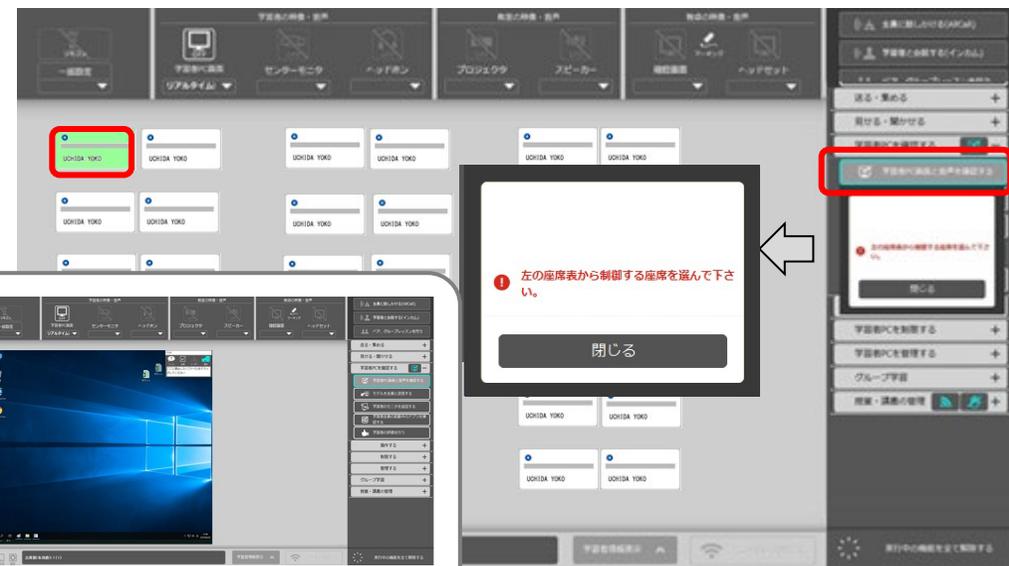


②モニタリング状態になると座席ボタン表示が  
白から緑色に変更し、【枠内受信】で  
学習者PCをモニタリングできます。

① 3 【授業支援エリア】→  
3 【学習者PCを確認する】→  
【学習者PC画面と音声を確認する】  
を選択します。ナビウィンドウし従ってモニタリング  
したい学習者座席ボタンをタッチすると【枠内受信】  
で学習者PCのモニタリングを開始します。

④ モニタリング機能をクリア  
する時は  
【実行中の機能を全て  
解除する】  
ボタンをクリックします。

(※対象の学習者を変更したい場合も、モニタりたい学習者の座席ボタンを順次押します)



## ■【学習者PCを確認する】学習者PC画面と音声を確認する②

学習者の音声を聞きたい

任意の学習者の音声を教員用ヘッドセットで受信します

学習者の音声を受信する場合、モニタリングと一緒に音声も受信することができます。

## 座席ボタンで音声を受信する

- ① 4【学習者座席表示エリア】  
【学習者座席ボタン】  
を直接タッチします。

- ②モニタリング状態になると座席ボタン  
表示が白から緑色に変更し、  
プレビューモニターで学習者の音声  
を受信できます。

(※対象の学習者を変更したい場合も、受信  
したい学習者の座席ボタンを順次押します)

## 授業支援機能から音声を受信する

- ① 3【授業支援エリア】→  
3【学習者PCを確認する】→  
【学習者PC画面と音声を確認する】  
を選択します。  
ナビウインドウに従ってモニタリングしたい学習  
者の座席ボタンをタッチするとモニタリングを  
開始します。同時に音声も受信します。

- ④ モニタリング機能をクリアする時は  
【実行中の機能を解除する】  
ボタンをクリックします。



(※学習者をモニタリングしている状態で、音声も受信しています。)

# 【学習者PCを確認する】 モデルを全員に送信する

モデル学習者のPC画像を皆で共有したい

任意の学習者の音声・PC画像を他の全学習者へ送信します

- ① 3【授業支援機能エリア】【学習者PCを確認する】をクリックします。
- ②【学習者PCを確認する】をクリックし、【モデルを全員に送信する】を選択します。
- ③ナビウィンドウに従って【モデル対象者】を選択します。【学習者座席表示ボタン】を直接タッチします。モデル対象者をタッチすると座席表示ボタンがオレンジ色に変わります。他の全学習者のボタンは水色に変わりモデル対象者のPC画面と音声を送信されます。
- ④ 機能をクリアする時は【実行中の機能を全て解除する】ボタンをクリックします。



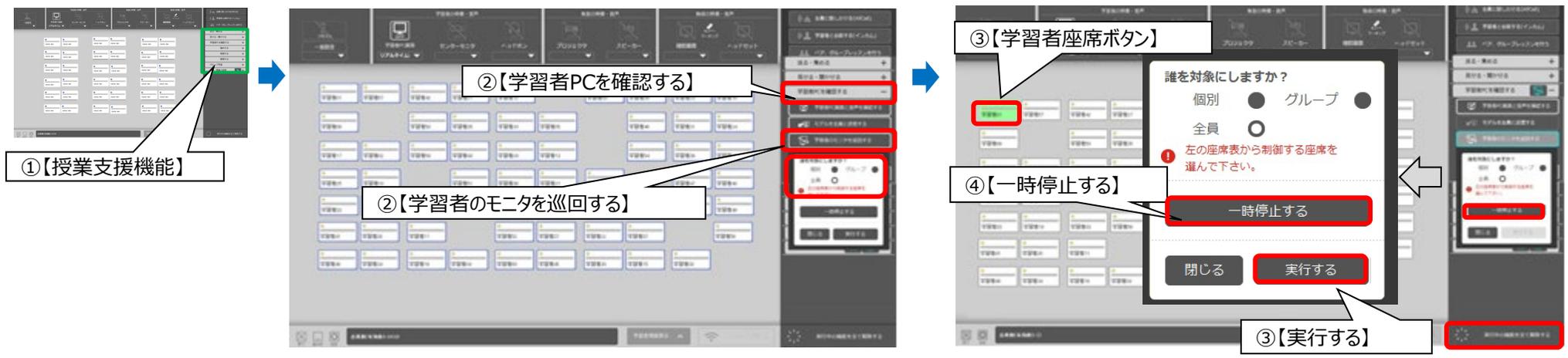
(※【モデル対象者】を変更したい場合は順次、直接座席表示ボタン押します。)

■【学習者PCを確認する】 学習者のモニタを巡回する（巡回モニタ）

学習者のPC画面を順番に見たい

自動で学習者PCをモニターします。（音声も受信します）

- ① 3【授業支援機能エリア】  
【学習者PCを確認する】  
をクリックします。
- ② 【学習者PCを確認する】  
をクリックし、  
【学習者のモニタを巡回する】  
を選択します。
- ③ ナビウインドウに従い【対象者】  
を選択します。巡回モニタを始めたい  
【学習者座席ボタン】をタッチします。  
【実行する】を押すとタッチされた学習者  
から巡回モニタが開始され、巡回モニタ中  
の学習者座席ボタンが緑色に変わります。  
（音声も受信します）
- ④ 巡回モニタを一時  
停止したい場合は  
【一時停止する】  
をクリックして下さい。
- ⑤ 巡回モニタ機能を  
クリアする時は  
【実行中の機能を解除する】  
ボタンをクリックします。



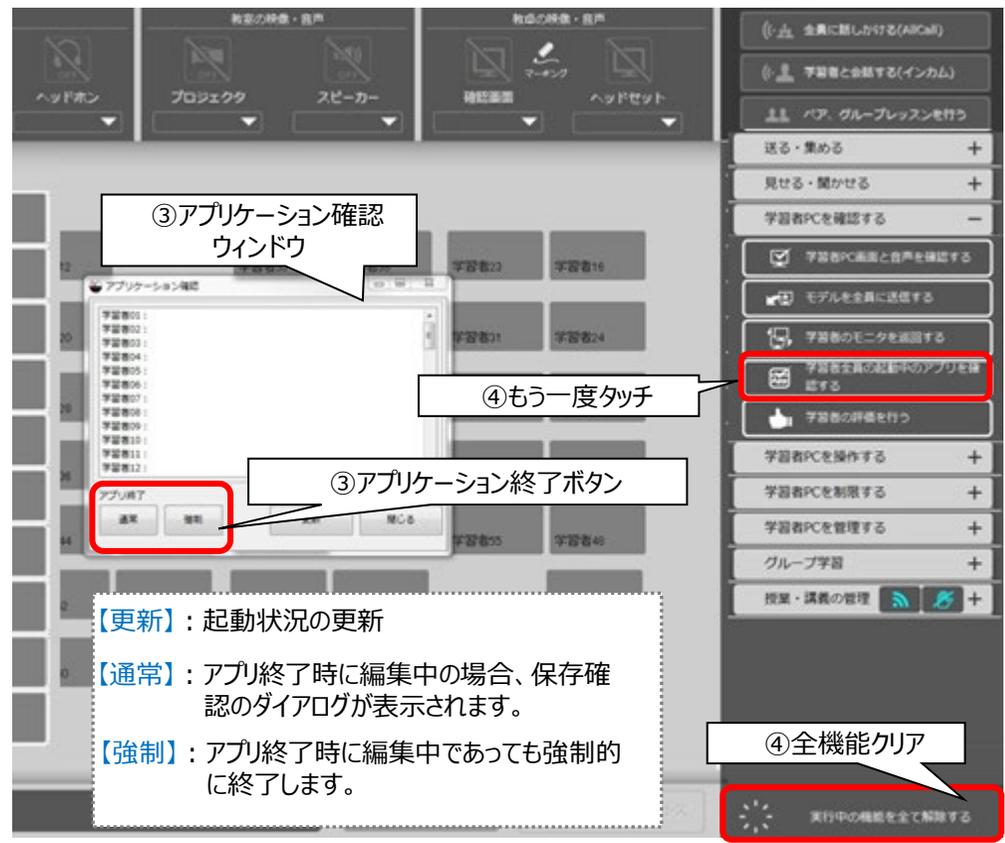
(※PC画面のモニタリングと共にモニタリングされている学習者の音声も受信しています。)

■【学習者PCを確認する】 学習者全員の起動中のアプリを確認する

学習者がどのソフトを使用しているのか確認したい

学習者が起動しているアプリを確認し、強制終了させることも可能

- ① 3【授業支援機能エリア】【学習者PCを確認する】をクリックします。
- ②【学習者全員の起動中のアプリを確認する】を選択します。
- ③コンソール中央にアプリケーション確認ウィンドウが表示されます。学習者名の横に起動中のアプリケーション名が表示されます。アプリケーション名をタッチし、【通常】あるいは【強制】をタッチすると選択されているアプリを終了します。
- ④ 機能をクリアする時は【学習者全員の起動中のアプリを確認する】あるいは【実行中の機能を解除する】ボタンをクリックします。

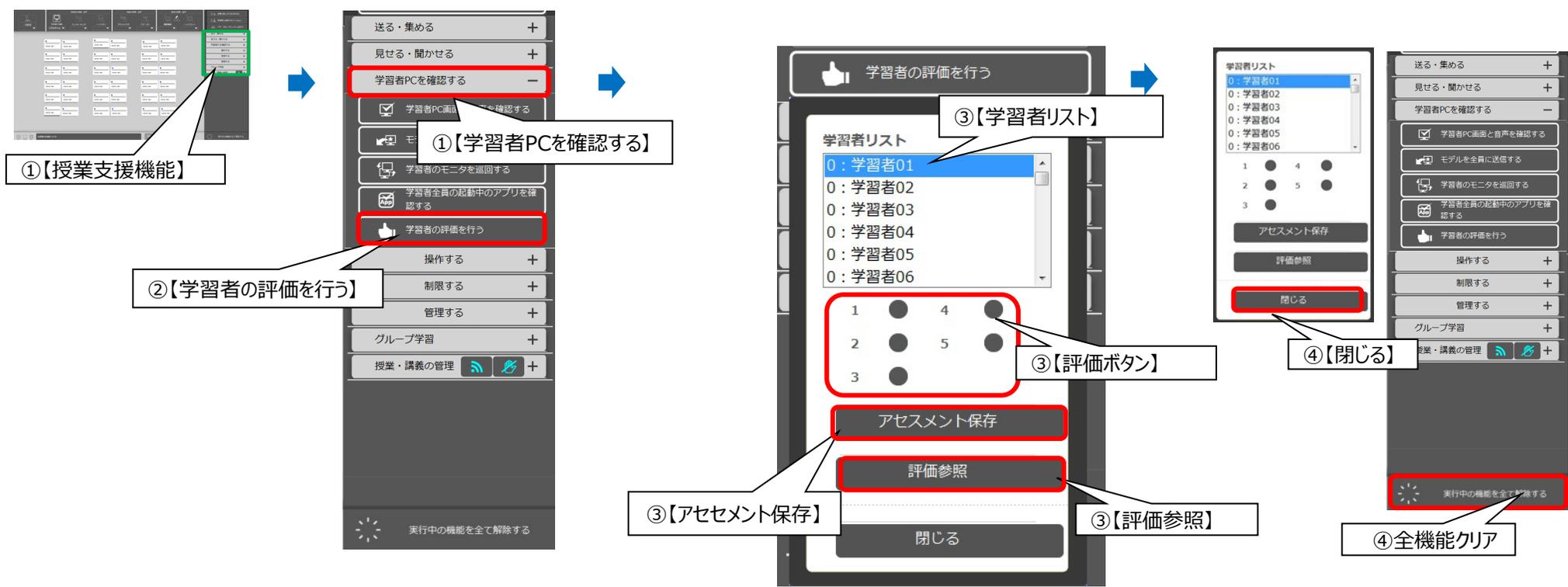


# 【学習者PCを確認する】学習者の評価を行う

学習者に授業内で評価を付けたい

学習者に5段階で評価を付け、確認する

- ① 3 【授業支援機能エリア】【学習者PCを確認する】をクリックします。
- ② 【学習者の評価を行う】を選択します。
- ③ ナビウィンドウに【学習者リスト】が表示されます。数字の横にあるボタンをタッチし、1～5の評価を付けます。評価を参照したい場合や評価の訂正を行う時は【評価参照】ボタンをタッチします。ペアレッスン等に評価を反映させたい場合は【アセスメント保存】をタッチします。
- ④ 機能をクリアする時は【閉じる】あるいは【実行中の機能を解除する】ボタンをクリックします。



# PC@LL Ver13.0 コンソール

- 【学習者PCを操作する】

# 【学習者PCを操作する】 キーボード・マウスを共有する

## 学習者PCのキーボード・マウスを共有操作する

モニタ中の学習者のキーボード・マウスを共有、教師PCからリモートで操作する。

- ① 3【授業支援機能エリア】
- ②【学習者PCを操作する】をクリックし、【キーボード、マウスを共有する】を選択します。
- ③ナビウィンドウが表示後、キーボード・マウスを共有したい学習者を座席ボタンから選択します。教師PCのキーボードとマウスを操作すると、モニターしている学習者PCのキーボードとマウスが動作します。
- ④ 機能をクリアする時はもう一度【キーボード、マウスを共有する】をタッチするか、【実行中の機能を全て解除する】ボタンをタッチします。あるいは教師PCのキーボードから【Ctrl】+【Alt】キーを押します。



※【共有機能】を実行している間は、教師PCの操作はできません。  
 ※【共有機能】を実行していても学習者PCのキーボード、マウスからの操作は可能です。

**Point!** 【キーボード・マウス共有】もう一つの操作方法について

- ①コンソールの座席ボタンをタッチし【キーボード、マウス共有】を行う学習者をモニタリングする。
- ②【学習者を操作する】から【キーボード、マウスを共有する】をタッチします。
- ③教師PCのキーボードとマウスを操作すると、モニターしている学習者PCのキーボードとマウスが動作します。
- ④機能を解除したい場合は上記④と同様に操作する。

# ■【学習者PCを操作する】 キーボード・マウスに介入する

## 学習者PCのキーボード・マウスを介入操作する

学習者PCのキーボード・マウスをロックし、学習者PCをリモートで操作する。

- ① 3 【授業支援機能エリア】
- ② 【学習者PCを操作する】をクリックし、【キーボード、マウスに介入する】を選択します。
- ③ ナビウィンドウが表示後、キーボード・マウスに介入したい学習者を座席ボタンから選択します。教師PCのキーボードとマウスを操作すると、モニターしている学習者PCのキーボードとマウスが動作します。
- ④ 機能をクリアする時はもう一度【キーボード、マウスに介入する】をタッチするか、【実行中の機能を解除する】ボタンをタッチします。あるいは教師PCのキーボードから【Ctrl】+【Alt】キーを押します。

①【授業支援機能】

②【キーボード、マウスに介入する】

③対象者の選択

もう一度タッチ

【実行中の機能を全て解除する】

教師用キーボード

教師PCキーボード

※【介入機能】を実行している間は、教師PCの操作はできません。  
 ※【介入機能】を実行している間は学習者PC側での操作はできません。

**Point!** 【キーボード・マウス介入】もう一つの操作方法について

- ① コンソールの座席ボタンをタッチし【キーボード、マウス介入】を行う学習者をモニタリングする。
- ② 【学習者を操作する】から【キーボード、マウスに介入する】をタッチします。
- ③ 教師PCのキーボードとマウスを操作すると、モニターしている学習者PCのキーボードとマウスが動作します。
- ④ 機能を解除したい場合は上記④と同様に操作する。

対象者をモニタリングする

【キーボード、マウスを介入する】

キーボード、マウスに介入する

# 【学習者PCを操作する】 学習者全員に介入を行う

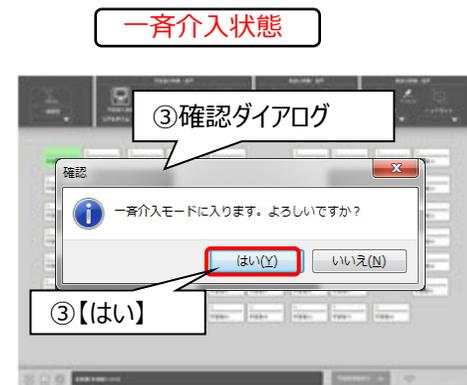
## 全学習者のキーボード・マウスを介入操作する

学習者全員のPCに対しキーボード・マウスをロックし、リモートで操作する。

- ① 3 【授業支援機能エリア】
- ② 【学習者PCを操作する】をクリックし、【学習者全員に介入を行う】を選択します。
- ③ 確認ダイアログが表示されます。【はい】をクリックすると一斉介入状態となります。任意の学習者を座席ボタンから選択し、モニター状態になります。受信された学習者PCの画面を見ながら一斉操作を行います。
- ④ 機能をクリアする時は実行状態中の【学習者全員に介入を行う】をタッチするか、【実行中の機能を解除する】ボタンをタッチします。



※一斉介入直後はモニタリングされている学習者PC上のマウスカーソルが一斉に左上に移動します。



**Point!** 【学習者全員に介入を行う】機能について

- ※マウスカーソルは移動量制御のデバイスなので複雑な操作を繰り返した場合、位置がずれる可能性があります。
- ※マウスカーソルの位置がずれてしまった場合は、マウスを左上に動かし続けることで、全ての端末のマウスカーソルの位置が左上に一致します。

# ■【学習者PCを操作する】 学習者PCのアプリを起動する

## 学習者PCのアプリケーションを起動する

## 学習者PCの登録済アプリを起動/終了する

① 3【授業支援機能エリア】

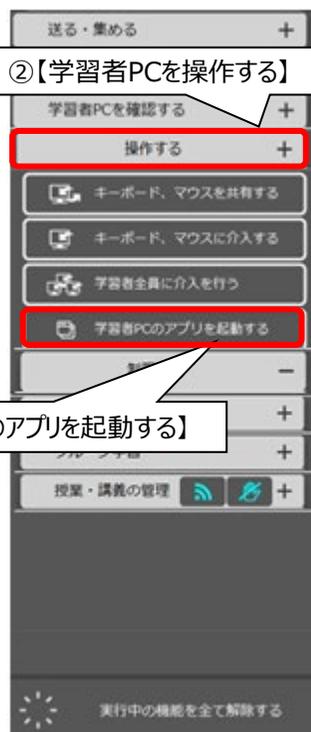
②【学習者PCを操作する】をクリックし、【学習者PCのアプリを起動する】を選択します。

③【アプリケーションを起動する場合】は【学習者PCのアプリを起動/終了する】をタッチすると、ナビウィンドウが表示されます。サブ画面が表示され、起動先の学習者の対象を選択します。起動したいアプリケーションを選択し【起動】ボタンをタッチします。

④ 機能をクリアする時は、【閉じる】あるいは【実行中の機能全てを解除する】ボタンをタッチします。



①【授業支援機能】



②【学習者PCを操作する】

②【学習者PCのアプリを起動する】

③【アプリケーションを終了する場合】は【起動】と同様に操作します。ナビウィンドウが表示後、サブ画面が表示され、終了先の学習者の対象を選択します。終了したいアプリケーションを選択し【終了】ボタンをタッチします。

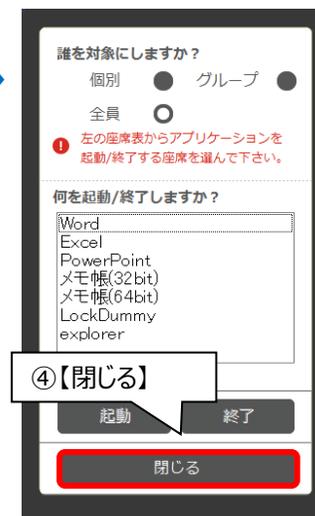


③対象者の選択

③アプリの選択

③【起動】

③【終了】



④【閉じる】

④【実行中の機能を全て解除する】



※アプリケーションに機能を解除しても、学習者側で起動されたアプリケーションは終了しません。

※アプリケーションによっては、コンソールから終了できないものもあります。

# PC@LL Ver13.0 コンソール

- 【学習者PCを制限する】

学習者PCのモニタをロックしたい

学習者PCのキーボードとマウスをロックし、画面を黒色表示でロックします

【ブラックアウト】では学習者のキーボード・マウス・画面をロックします。

- ① 3【授業支援機能エリア】
- ②【学習者PCを制限する】をクリックし、【学習者のモニタをブラックアウトする】を選択します。
- ③ナビウィンドウが表示後、ブラックアウト対象者を選択します。直接座席ボタンをタッチして対象者を選択することもできます。【実行する】をクリックします。
- ④ 機能をクリアする時は【実行中の機能を解除する】ボタンをクリックします。

①【授業支援機能】

②【学習者PCを制限する】

②【学習者のモニタをブラックアウトする】

③対象者の選択

③対象者の選択

③実行する

③実行中の機能を全て解除する

(※ブラックアウト実行中は学習者座席表示ボタンは黒色に変更します。)

学習者のキーボード・マウスをロックしたい

学習者PCのキーボードとマウスをロックし、操作できないようにします。

- ① 3 【授業支援機能エリア】
- ② 【学習者PCを制限する】をクリックし、【学習者のキーボード・マウスをロックする】を選択します。
- ③ ナビウィンドウが表示後、ロックをかけたい対象者を選択します。直接座席ボタンをタッチして【個別】の対象者を選択することもできます。【実行する】をクリックします。
- ④ 機能をクリアする時は、もう一度【学習者のキーボード・マウスをロックする】をタッチするか【実行中の機能を全て解除する】ボタンをタッチします。

①【授業支援機能】

②【学習者PCを制限する】

②【学習者のキーボード・マウスをロックする】

③【個別】学習者の選択

③対象者の選択

③実行する

④もう一度タッチして機能をクリア

④【実行中の機能を全て解除する】

※【共有機能】組み合わせることにより、学習者の操作を抑制しながら教師のみが操作することができます。

※【遅刻者対応】により、ロック機能実行後に起動してきた学習者PCにも機能が反映されます。

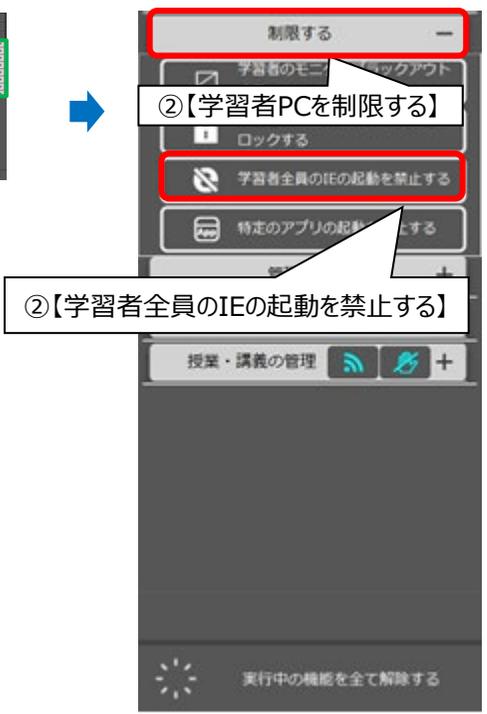
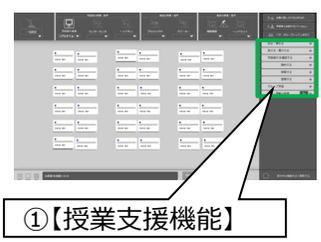
# ■【学習者PCを制限する】 学習者全員のIEの起動を禁止する

全学習者PCのIEの起動を禁止したい

全学習者のIEの起動を制限し、インターネットを使用禁止にする

※本機能に対象選択はありません。PC@LLにログインされている全学習者が対象になります。

- ① 3【授業支援機能エリア】
- ② 【学習者PCを制限する】をクリックし、【学習者全員のIEの起動を禁止する】を選択します。
- ③ 学習者側で起動中の【Internet Explorer】が強制的に終了します。IEをロックした後は学習者側で【Internet Explorer】を起動出来なくなります。
- ④ 機能をクリアする時は、もう一度【学習者全員のIEの起動を禁止する】をタッチします。



※この機能は【実行中の機能を全て解除する】では解除できません。



※IE7以降で複数のタブを開いている場合、IEの設定によっては【IE終了確認】メッセージが表示されます。この場合、IEは強制終了されません。

※【遅刻者対応】により、IE起動禁止機能実行後に起動してきた学習者PCにも機能が反映されます。

学習者PCのアプリケーションの起動を制限する

学習者PCの起動に制限をかけ、起動を禁止する

① 3 【授業支援機能エリア】

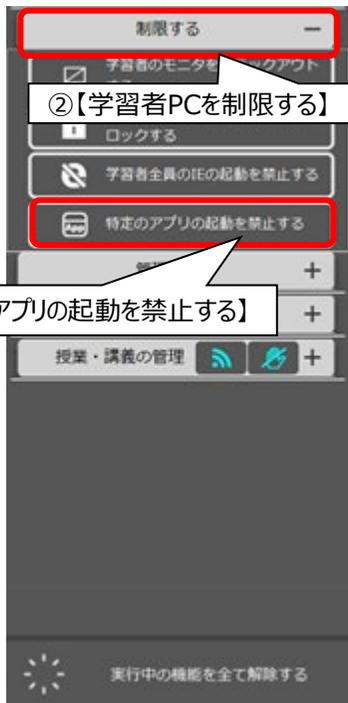
② 【学習者PCを制限する】をクリックし、【特定のアプリの起動を禁止する】を選択します。

③ 教師PC画面に【アプリケーション制限】ウィンドウが表示されます。

④ 【アプリケーション制限】ウィンドウの【閉じる】ボタンをクリックし終了します。

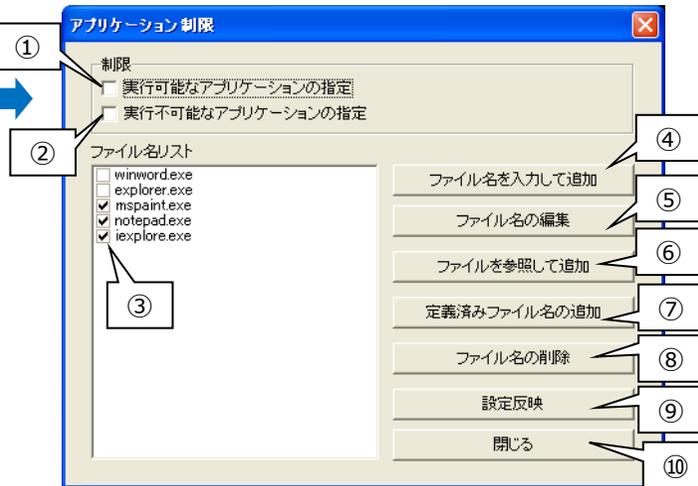


① 【授業支援機能】

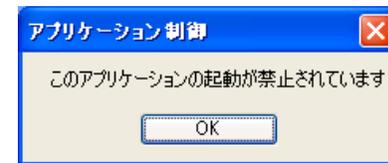


② 【学習者PCを制限する】

② 【特定のアプリの起動を禁止する】



※起動が禁止されているアプリケーションを学習者PCで起動しようとする、以下のメッセージが表示されます。



※既に学習者PCで起動しているアプリケーションは対象になりません。

※【アプリ起動】と【ソフトレコーダー】は本機能の制限を受けません。

①	実行可能なアプリを指定する場合にチェックする。 ⇒指定されたアプリ起動可能	⑥	ファイル名参照： 参照ダイアログからファイル名を追加
②	実行不可能なアプリを指定する場合にチェックする。 ⇒指定されアプリは起動不可能	⑦	定義済ファイル名： あらかじめ定義されているファイル名を追加
③	ファイル名リスト：チェックがついているファイルのみ対象	⑧	ファイル名の削除： 入力されているファイル名を削除
④	ファイル名リスト入力：ファイル名を入力して追加	⑨	設定反映：学習者PCに設定を反映
⑤	ファイル名編集：選択されているファイル名を編集	⑩	閉じる： 【アプリケーション設定】ウィンドウを閉じる

# PC@LL Ver13.0 コンソール

- 【学習者PCを管理する】

## 学習者PCの電源を制御したい

学習者PCの電源をリモートコントロールします。

電源制御メニューには【PCを起動】【通常終了】【強制終了】【ログオン】【ログオフ】【再起動】があります。

① 3 【授業支援機能エリア】

② 【学習者PCを管理する】をクリックし、  
【学習者PCの電源制御を行う】を選択します。  
ナビウインドウに従って電源をリモートしたい  
【対象者】を選択します。

③ 対象を選択後、電源制御のプルダウンメニュー  
から実行したいメニューを選択します。  
選択された項目は青に反転します。

④ 項目選択後、  
【実行する】をクリック  
すると選択した項目を  
実行します。



学習者PCからファイルを提出させたい

学習者PCのファイルの提出を許可します。

コンソール側で【学習者PCを管理する】から【学習者PCからファイル提出を許可する】を選択し、学習者PC側の学習者表示パネルにてファイルの提出を行います

- ① 3 【授業支援機能エリア】
- ② 【学習者PCを管理する】をクリックし 【学習者PCからファイル提出を許可する】を選択します。  
(この状態で学習者PCの学習者表示パネルの【提出】アイコンが使用可能な状態になります)
- ③ 学習者の【学習者表示パネル】上の【提出】ボタンが青に変わり、パネルの下部に『ここに提出したいファイルをドラッグしてください』のメッセージの場所に提出したいファイルをドラッグ & ドロップします。
- ④ 学習者が提出したファイルはPC@LLサーバーの中の【ファイル提出】の中に保存されています。

**①【授業支援機能】**

**②【学習者PCを管理する】**

**②【学習者PCからファイル提出を許可する】**

**学習者表示パネル**

※【提出】ボタンがグレイアウト状態から白くなります。

**学習者PC側操作**

ここに提出したいファイルをドラッグしてください

※学習者がファイルをドラッグ & ドロップしても特にメッセージは表示されませんが、再度同じファイルをドラッグ & ドロップさせると上書き保存をするかどうかのメッセージを聞いてくることで確認できます。

※教員のみサーバーの中を確認できます。

※参考：PC@LLサーバー内【ファイル提出】の中

1個の項目 状況: オンライン

# PC@LL Ver13.0 コンソール

## ■【グループ学習】

学習者にグループ学習をさせたい

学習者のPC画面・キーボード・マウスを共有し、グループで同一のアプリを使う

※グループについては次ページの【処理対象グループ設定】を参照してください。

① 3【授業支援機能エリア】

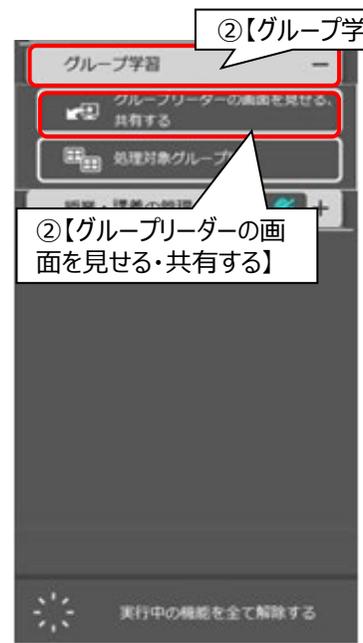
②【グループ学習】から【グループリーダーの画面を見せる・共有する】を選択します。

③【学習者側の操作】：グループ内の任意の学習者が学習者パネル上の【リーダー】ボタンを押します。

⑤リーダーPCを利用しながらグループメンバーでグループ学習を行います。



①【授業支援機能】



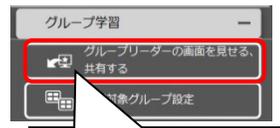
②【グループリーダーの画面を見せる・共有する】

■ 学生側の操作



④リーダーPCのデスクトップ画面が、他グループメンバーのPCへ送信され他のメンバーはリーダーのキーボードとマウスをリモート操作できます。

⑥機能をクリアする時はもう一度【グループリーダーの画面を見せる、共有する】をタッチするか【実行中の機能を全て解除する】ボタンをタッチします。



⑥もう一度タッチ



⑥【実行中の機能を全て解除する】

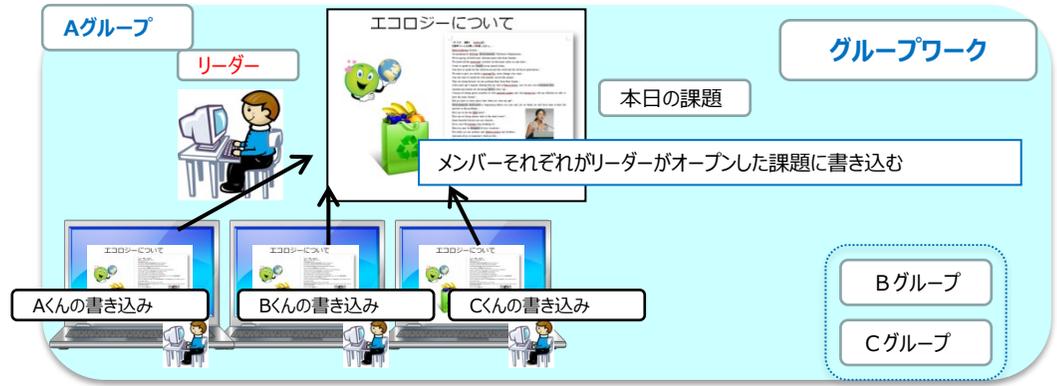
【注意点】

**本機能のグループメンバーの設定**  
次ページの処理対象グループ設定にて、設定したグループメンバー間で実行されます。

**グループメンバー間会話も開始されます**  
本機能実行時に、グループメンバー間で音声通話が始まります。

**Point!** グループワークのイメージ図について

リーダーがオープンした課題ファイルにグループメンバーは自由に書き込みを開始する。



学習者をグループに分ける。

グループで選択機能で使用するグループを設定し、学習者をグループに割り振る。

① 3【授業支援機能エリア】

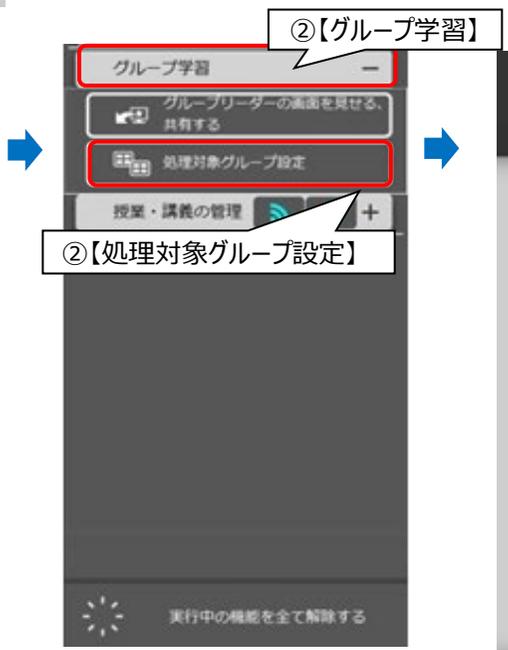
②【グループ学習】から【処理対象グループ設定】を選択します。

③ナビウインドウが表示されます。画面上部の【グループ選択】ボタンより設定したいグループ番号のボタンをタッチします。

④選択したグループに所属させたい学習者の座席ボタンをタッチします。続けて同様の操作で全ての学習者のグループ設定を行います。【決定】ボタンを押すとグループ情報が保存されます。



①【授業支援機能】



②【グループ学習】

②【処理対象グループ設定】



③グループ番号選択

④グループメンバーを選択

※【処理対象グループ】に人数制限はありません。

【デフォルト保存】

④【決定】

【デフォルト読込】

【アセスメント読込】

**Point!** その他の設定等について

【デフォルト読込】：【デフォルト保存】設定で【する】を選択した時のグループ設定が行われます。

【アセスメント読込】：【アセスメント情報】に基づいたグループ設定が行われます。

# PC@LL Ver13.0 コンソール

- 【授業・講義の管理】

講義（教師、受講者）を登録したい。

全員出席している状態を、そのまま講義として登録。（座席固定）  
登録した講義を呼び出せば、次回から欠席者を把握可能です。

① 3【授業支援機能エリア】

②【授業・講義の管理】から  
【講義を選択・開始】  
を選択します。



①【授業支援機能】



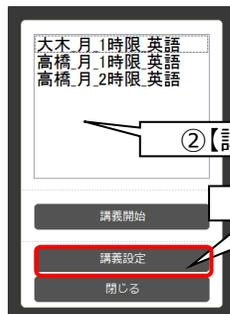
②【授業・講義の管理】

②【講義を選択・開始】

■【講義登録】について

①ナビウインドウが表示されます。  
講義モードを使用しない状態で**学習側**で  
出席操作を行います。

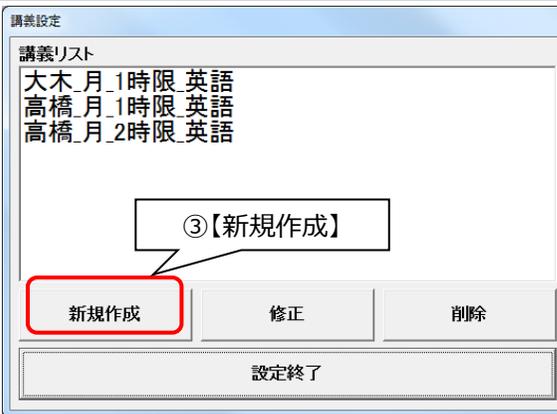
②ウインドウの【講義設定】をタッチします。  
教師PC上に【講義設定】ウインドウが  
表示されます。



②【講義設定パネル】

②【講義設定】

③【新規作成】ボタンをクリックします。



③【新規作成】

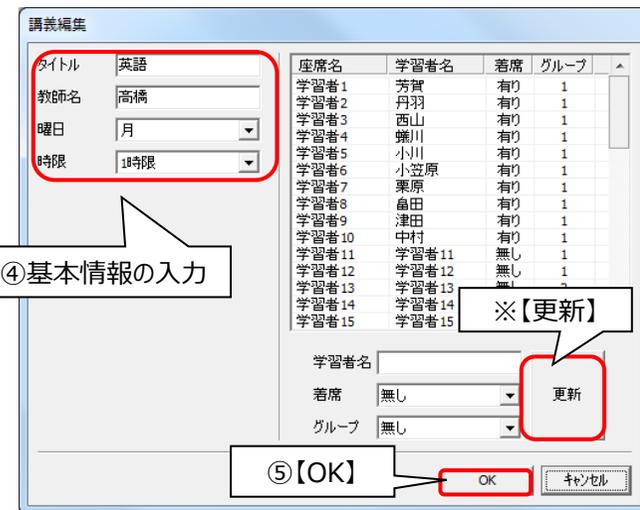
新規作成

修正

削除

設定終了

④ 講義の基本情報の設定を行います。  
【講義名】【教師名】【曜日】【時限】を入力します。



④基本情報の入力

※【更新】

更新

⑤【OK】

OK

キャンセル

⑤ 講義設定が終了したら【OK】ボタンで講義情報を  
保存して下さい。

※座席番号順に着席の有無、生徒名、現在のグループ  
設定が一覧表示されます。内容を確認し欠席などで  
講義を履修予定でありながら今回出席していない  
学習者に関しては手動で名前等を入力します。

※修正をした場合は必ず【更新】ボタンをクリックして下さい。

## ■【授業・講義の管理】 講義を選択・開始 ②

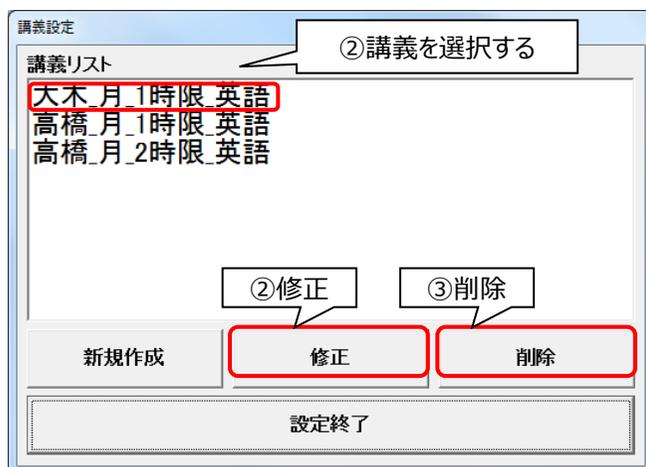
講義を管理する。講義を開始・終了する。

### ■【講義編集・削除】について

- ①【講義設定】パネルの【講義設定】をタッチします。  
教師PC上に【講義設定】ウィンドウが表示されます。

- ②【修正】を行う場合は講義を選択してから【修正】ボタンをクリックします。  
(※【新規作成】と同じウィンドウで講義内容の修正ができます。)

- ③【削除】を行う場合は、講義を選択してから削除ボタンをクリックします。



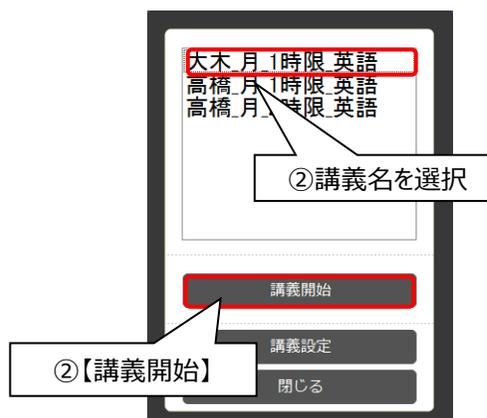
登録した講義情報の管理を行う。登録した講義を開始・終了する。

### ■【講義開始】について

- ①コンソール授業支援エリア  
【授業・講義の管理】の中の  
【講義を選択・開始】を選択します。



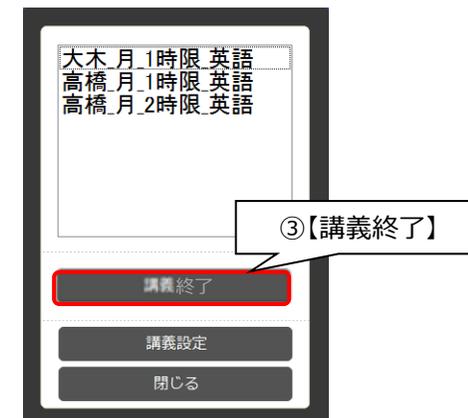
- ②ナビウィンドウに表示されている講義名  
を選択し【講義開始】をタッチします。



- ③【講義情報】を元に、コンソール上の  
座席ボタンに【出席者名】と【欠席者名】  
が表示されます。



- ③講義を終了する場合、【講義終了】ボタン  
をタッチします。  
その講義の出席情報がクリアされます。



※出席のクリアにより、アセスメント情報も同時にクリアされます。

※【講義中】はコンソールを終了できません。コンソール終了前には必ず【講義終了】を行って下さい。

学習者からの呼出しを許可する

学習者からのコール要求を受け付け許可、あるいは禁止する

① 3【授業支援機能エリア】

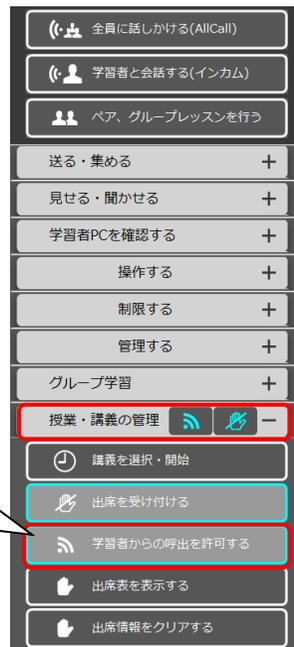
②【授業・講義の管理】の【学習者からの呼出しを許可する】がON状態になっています。学習者側からの呼出しを禁止したい場合は、このボタンをタッチします。

③学習者からのコール要求をコンソールが認識すると、学習者の座席ボタン中央のバーが赤色に表示されます。

④機能をクリアする時は【学習者からの呼出しを許可する】をタッチする。



①【授業支援機能】



②【学習者側からの呼出しを禁止する場合、タッチする】

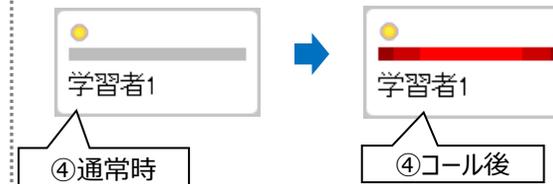
■ 学習者側の操作



③【コールボタン】

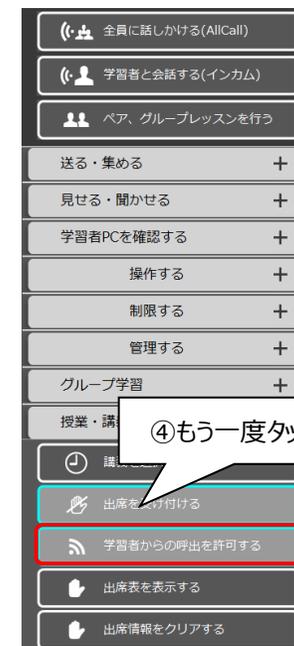
③学習者表示パネル

■ 学習者座席ボタンの表示変更



④通常時

④コール後



④もう一度タッチする

※モニタリングされた学習者やモデル送信のモデル選択された学習者は、コール要求が解除されます。

学習者の出席状況を確認したい。

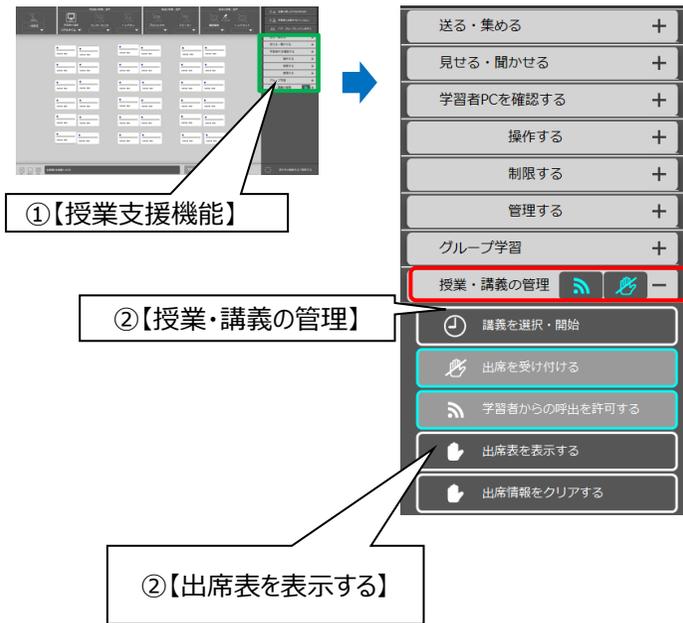
学習者の出席状況を表示する。 検索結果をCSVデータに出力する。

① 3【授業支援機能エリア】

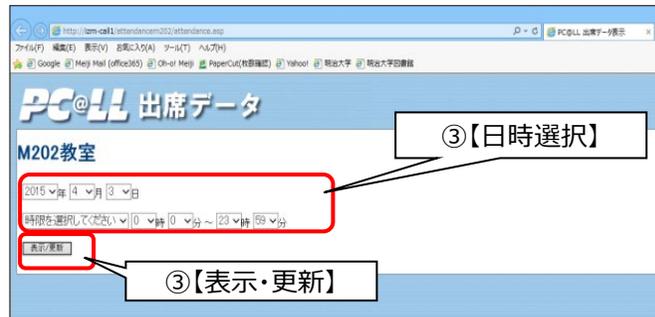
②【授業・講義の管理】の【出席表を表示する】を選択します。

③教師PC上に【出席データ表示】ウィンドウが表示されます。出席データを参照したい日時を選択し【表示/更新】ボタンをクリックすると出席データが表示されます。

④出席データを出力したい場合は、【エクセルCSVファイル保存】をクリックします。ファイルダウンロードのダイアログが表示されます。【保存】ボタンをクリックし、任意の保存先を選択します。任意の保存先に出席データが保存されます。



■ 教師PC上の操作



■ 出席データの検索結果表示



※学習者の出席情報をクリアするには【出席情報をクリアする】ボタンを押します。

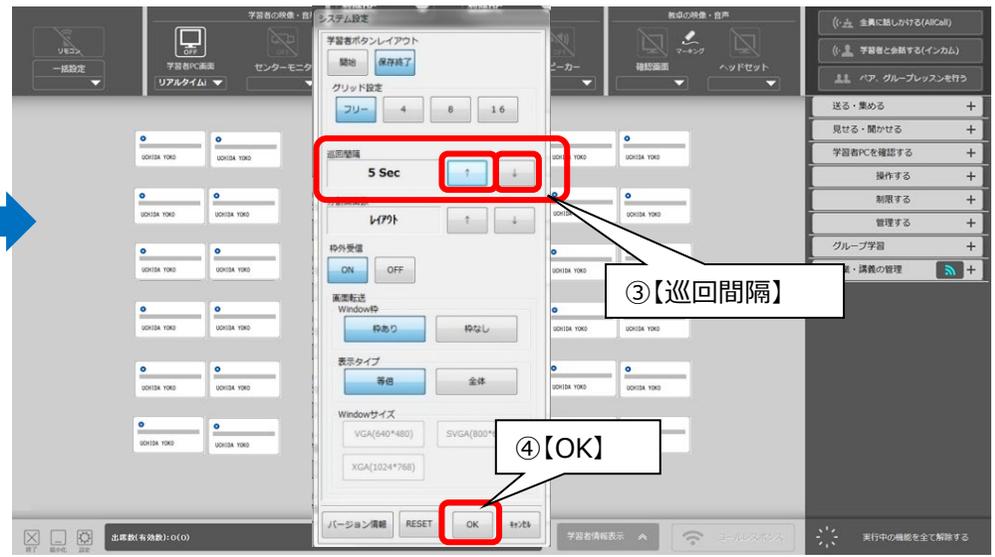


# PC@LL Ver13.0 コンソール

- 【終了・設定】

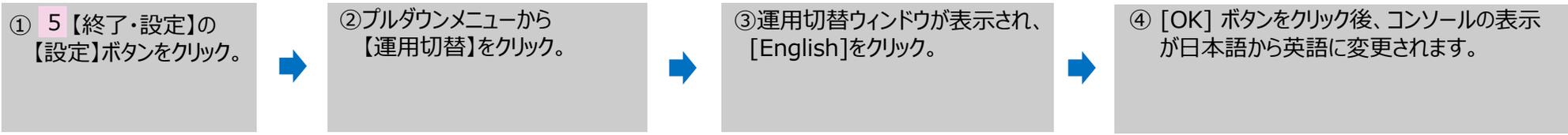
学生の巡回モニタの間隔を変更したい

- ① 5 【終了・設定】の【設定】ボタンをクリックします。
- ② 設定メニューから【一般設定】を選択します。
- ③ システム設定ウィンドウが表示されます。【巡回間隔】の横にある矢印ボタンを押し、任意の巡回間隔を選択します。
- ④ [OK] ボタンを押しウィンドウを閉じます。変更内容が反映され巡回モニタの変更されます。



※ 学習者のモニタを巡回する場合は  
 【授業支援機能】→【学習者PCを確認する】→【学習者のモニタを巡回する】→ナビウィンドウに従って【対象】を選択し【実行する】をクリックします。  
 詳細はテキストP.【学習者のPC画面を順番に見る】を参照して下さい。

コンソールの日本語表示を英語表示に変更したい



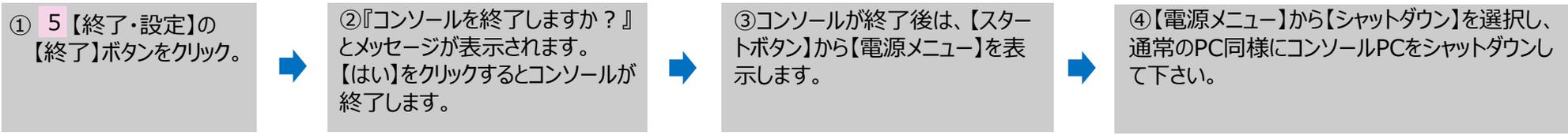
【日本語版 コンソール】

【英語版 コンソール】



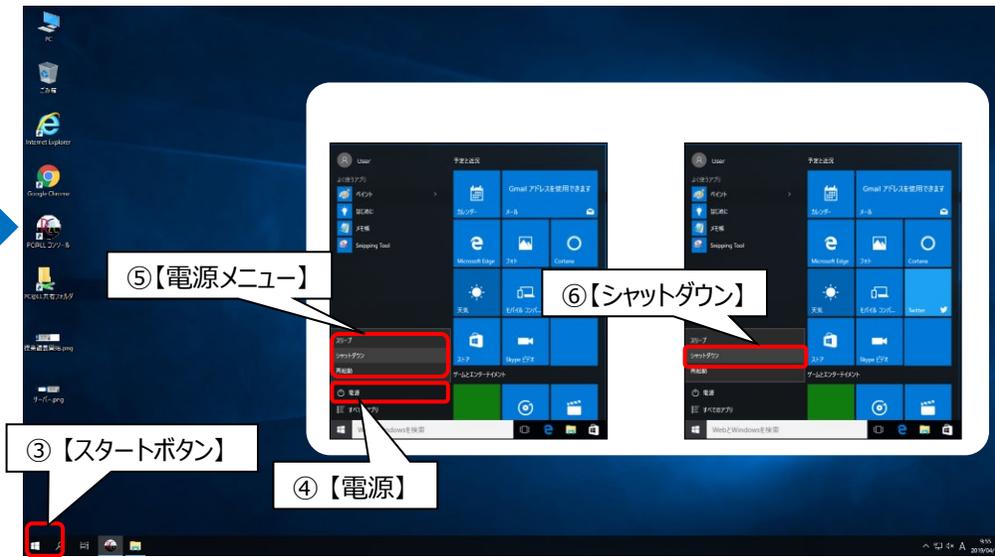
※英語版コンソールから日本語表示に戻す場合も、同様に【設定】→【運用切替】→【日本語】→[OK] ボタンをクリックします。

コンソールを終了する



【コンソールを終了】

【コンソールPCのシャットダウン】



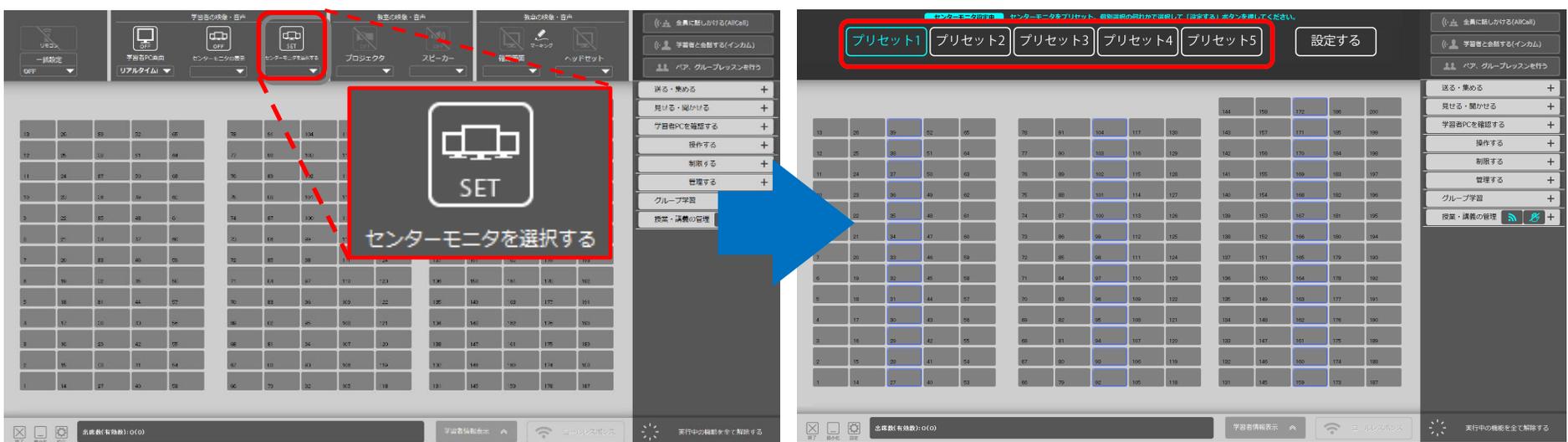
PC@LL Ver13.0 コンソール  
カスタマイズ項目 センターモニタ運用方法

センターモニタとして設定されている座席状況（プリセット1～5）を確認します。

① 画面上部の【センターモニタを選択する】ボタンをクリックします。



② センターモニタ設定画面に移行します。



③ プリセット1～5ボタンを押すとセンターモニタとして設定されている座席が水色枠で表示されます。

プリセット5 はセンターモニタ無しの設定です。



3列それぞれで、真ん中席をセンターモニタに設定



3列それぞれで、真ん中の隣の2列をセンターモニタに設定



3列それぞれで、教室の真ん中より後方の真ん中席をセンターモニタに設定



3列それぞれで、教室の真ん中より前方の真ん中席をセンターモニタに設定

# ■センターモニタとして起動させる

プリセットからセンターモニタとして設定されたPCを起動させます。（下例はプリセット 1 を選択）

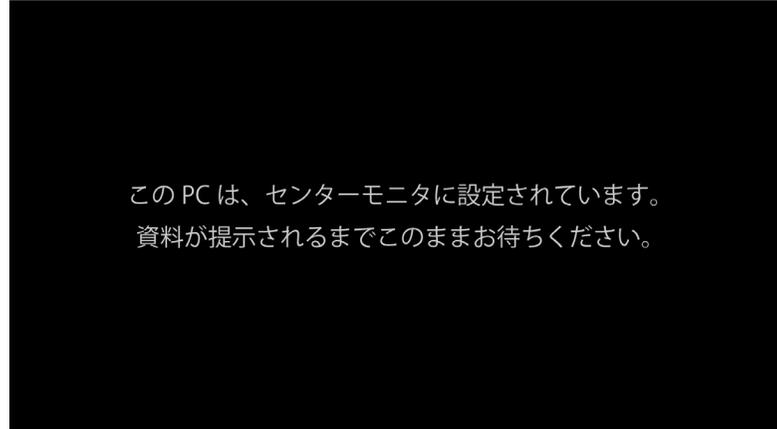
① センターモニタ設定画面よりプリセットボタンを選択します。



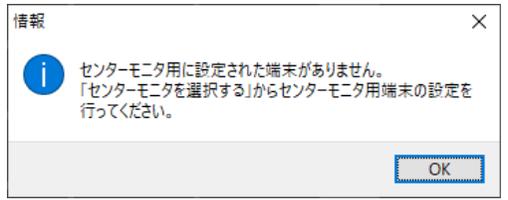
② 【設定する】ボタンを押します。



センターモニタとして設定した端末が起動されます。自動でログインし、下図の画面が表示されます。



### 【注意 1】



プリセット 5 などセンターモニタとして設定された端末が無い状態で「設定する」ボタンを押すと上図のメッセージが表示されます。

### 【注意 2】

「設定する」ボタンを押した時点で、すでにログイン済の端末はセンターモニタとして利用出来ません。再起動すればセンターモニタとして利用可能になります。

プリセットからセンターモニタとして設定されたPCを起動させます。（下例はプリセット 1 を選択）

① 【センターモニタの表示】ボタンを押します。



② ボタンを押す度にボタンのアイコン表示が切り替わります。（OFF⇔ON）

「センターモニタの表示」アイコンを押す度に、アイコン表示がOFF⇔ONに変わり、映像の投影がON・OFFされます。

【Point】 メインスクリーンへ投影しているものが、センターモニタに映せる映像となります。

PC(座席)をセンターモニタとして追加設定、設定から削除する

① センターモニタ設定画面にて座席ボタンを押します。

② センターモニタとして設定されている座席は設定が外れ、設定されていない座席はセンターモニタ設定されます。

センターモニタ設定中 センターモニタをプリセット、個別選択の何れかで選択して「設定する」ボタンを押してください。

プリセット1 プリセット2 プリセット3 プリセット4 プリセット5 設定する

座席ボタンをタッチする事で有効⇔無効が切り替わります。

微調整が終わりましたら、「設定する」ボタンを押してください。

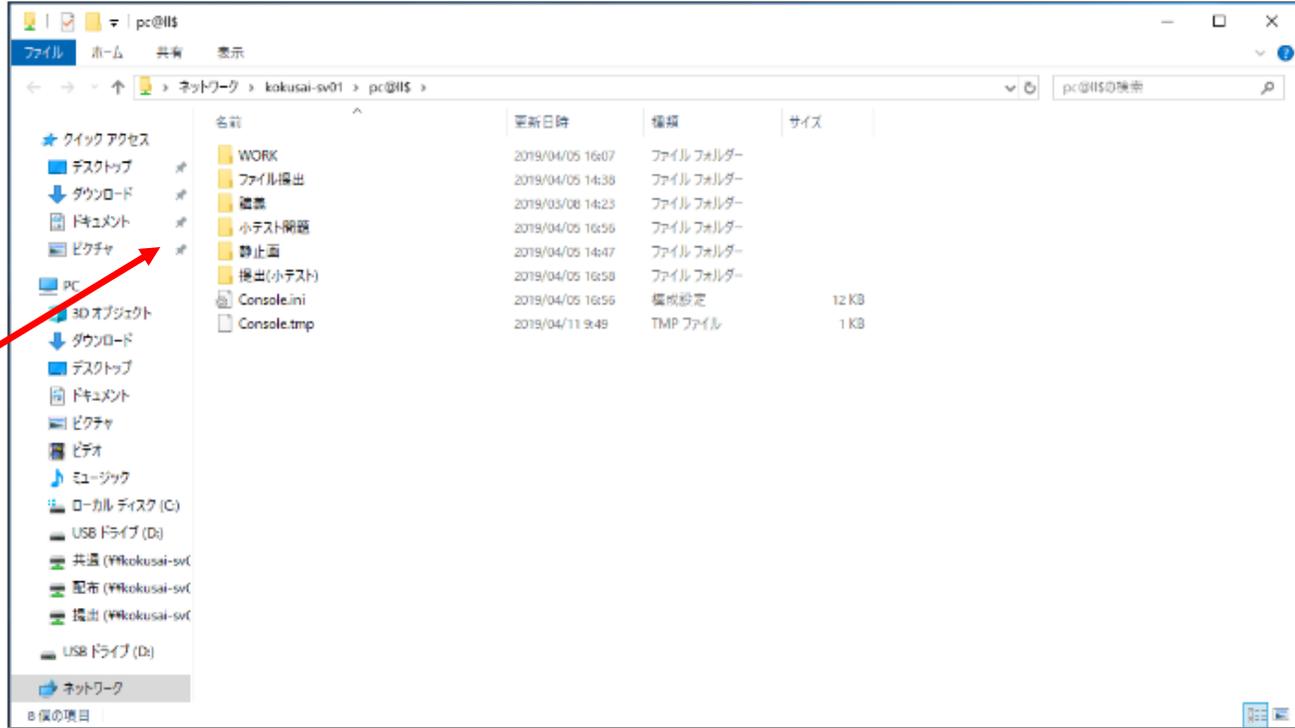
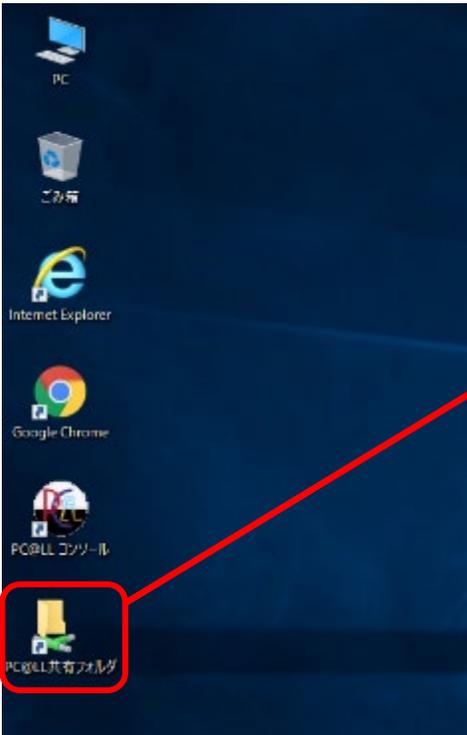
【Ponit】 微調整は今回だけの変更で、プリセットの設定には反映しません。

# PC@LL Ver13.0 コンソール

## ■サーバー内フォルダ構成

# ■【PC@LL Ver13.0 サーバー内フォルダ構成】

- PC@LL授業支援システムを利用して回収、学生側から提出したファイルははサーバーのPC@LL専用フォルダに集約されます。
- PC@LL専用フォルダにアクセスするには、教師PCデスクトップ上の【PC@LL共有フォルダ】から入ります。



## フォルダ構成と各フォルダ説明

 **ファイル提出**      学生の提出ファイルが保存されます。

 **講義**      出席の講義設定のファイルが保存されます

 **小テスト問題**      教材作成で作成した【小テスト】の問題が保存されています。

 **静止画**      教師PCの画面転送で [静止画] を選択時に転送した時点の教師PC 静止画像が保存されます

 **提出(小テスト)**      【小テスト】の学生の回答結果が保存されています。

**PC@LL Ver13.0 授業支援システムマニュアル** (2019.4.15)

Uchida Yoko Co., LTD.

■ All Rights Copyright Reserved (C) UCHIDA YOKO Co.,LTD ■